

塩谷エムエス「ダイゴ」培地

製品要覧

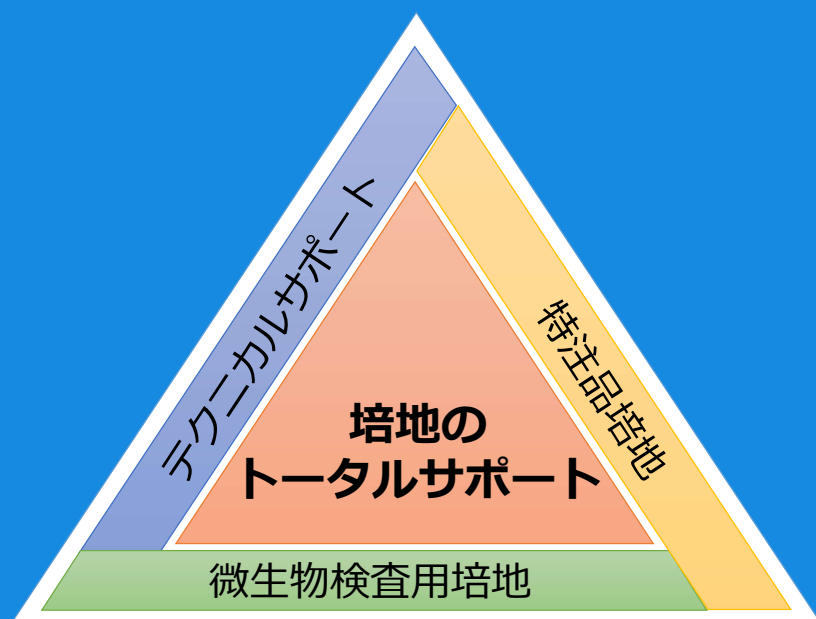
日局試験用培地

試験・検査用培地

培養基材

細胞培養用培地

特注品培地



塩谷エムエス「ダイゴ」培地

製品要覧



塩谷エムエス株式会社

特注品培地の製造依頼方法について

培地でこんなお困り事はありませんか？

小ロットでの製造が可能です。ご要望に応じた培地を特注品として製造することができますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

- ・ お客様独自の組成で培地を製造して欲しい
- ・ 従来使用していた培地が発売中止になってしまったので同じ培地が欲しい
- ・ A と B の培地を 2：3 の割合で混合した培地が欲しい
- ・ C 製品の液体培地を 500ml で製造して欲しい
- ・ D 製品にビタミン A を 3 グラム配合したい

問い合わせおよび依頼方法

下記情報を富士フイルム和光純薬または代理店を通じご依頼下さい。

- ・ 御社名、ご担当者、連絡先（電話番号、メールアドレス等）
- ・ ご要望される培地の組成（成分および精製水 1 L あたりのグラム数）
- ・ 粉末、液体等の性状および容量、数量
- ・ ご希望の納品時期
- ・ その他ご要望、ご質問

注意事項

特注品培地はお客様のご要望・ご指示通りに製造致します。

以下の点にご注意下さいますようお願い致します。

- ・ 特注品培地に関する特許等の第三者権利の確認については、お客様にてご対応をお願い致します。
- ・ 製品試験は自社基準の出荷試験のみを実施しております。
ご希望の試験がございましたら、依頼時に試験方法等をご指示下さい。
試験費用は別途必要となりますが実施可能です。
- ・ 特注品は御社設定の組成、規格で製造しております。性能、性状等に問題があっても返品・交換は致しかねますのでご了承下さい。
- ・ その他特注品の使用で生じた問題はお客様の責任でお願い致します。

【参考資料】SDS・規格書・成績書の取得5ステップ

- ① 塩谷エムエスのホームページを開いて下さい

URL : <https://www.shiotani-ms.co.jp/>



『培地について』を
クリック

- ② 培地のページが開きます



『こちら』を
クリック

- ③ 同意文書が表示されますので下にスクロールします



『はい』をクリック

- ④ SDS・規格書・成績書の必要書類項目にご購入製品の情報を入力して下さい



成績書の場合
『製品番号』
『ロット番号』を
入力し『検索』を
クリック

- ⑤ PDFがダウンロードされますので内容をご確認下さい

【参考資料】微生物試験用培地の選定表

微生物	用途	無菌試験用	生菌数測定用培地		増菌用培地	分離用培地	確認用培地	菌株保存用	防腐剤
		培地	平板法	M P N 法				培地	不活化用
一般細菌		・液状チオグリ コール酸培地 ・変法チオグリ コール酸培地	・ S C D 寒天培地 ・ S C D L P 寒天培地 ・標準寒天培地	・ S C D培地 ・ S C D L P 培地	・ S C D培地 ・ S C D L P 培地	・ S C D 寒天培地 ・ S C D L P 寒天培地 ・抗黴培地※	—	・ S C D 寒天培地	・ L P 希釈液 ・ レシチン
真菌 (カビ・酵母)		・ S C D培地	・ G P 寒天培地 ・ G P L P 寒天培地 ・ ヲリヂン・ブドウ糖 寒天培地 ・ ポリデキストロス 寒天培地	・ G P L P 培地 ・ ヲリヂン・ブドウ糖 寒天培地	・ G P L P 培地 ・ ヲリヂン・ブドウ糖 寒天培地	・ G P 寒天培地 ・ G P L P 寒天培地 ・ ヲリヂン・ブドウ糖 寒天培地 ・ ポリデキストロス 寒天培地	—	・ G P 寒天培地 ・ ヲリヂン・ブドウ糖 寒天培地 ・ ポリデキストロス 寒天培地	
大腸菌群		—	—	・乳糖バイオン 培地 ・ B G L B 培地	・乳糖バイオン 培地 ・ B G L B 培地	・デスチン 寒天培地 ・ E M B 寒天培地 ・マッコンキー 寒天培地	・乳糖バイオン 培地 ・ B G L B 培地 ・ E C培地	・ S C D 寒天培地	
緑膿菌		—	—	—	・ S C D培地 ・ S C D L P 培地	・セトリミド 寒天培地	—	・ S C D 寒天培地	
黄色 ブドウ球菌		—	—	—	・ S C D培地 ・ S C D L P 培地	・フォーゲル・ ジョンソン 寒天培地 ・マニッ食塩 寒天培地 ・ハート・パーカー 寒天培地	—	・ S C D 寒天培地	
サルモネラ		—	—	—	・ E E M バイオン培地 ・ルーナ・トリファ 酸塩基礎培地 ・亜硫酸ビスス 寒天培地 ・セフト・スリ 基礎培地 ・トリファ 培地	・ X L D 寒天培地 ・マッコンキー 寒天培地 ・ D H L 寒天培地 ・ブリアントグリ 寒天培地	・ T S I 寒天培地	・ S C D 寒天培地	

※ 真菌類は選択的に繁殖を抑制し、細菌類は繁殖する

【参考資料】 内用液剤及びX線造影剤菌数限度、微生物試験に用いる培地等一覧

厚生省薬発 第297号
(昭和51年4月1日) より

漢方エキス製剤については、菌数限度及び微生物試験法は、
この薬発第297号が参考にされます。

〔内用液剤及びX線造影剤の菌数限度〕

	生菌数測定試験法	大腸菌群検出試験法	緑膿菌検出試験法	黄色ブドウ球菌検出試験法	真菌試験法
菌数	1.0×10 ³ /ml(g)未満	検出してはならない	検出してはならない	検出してはならない	1.0×10 ² /ml(g)未満

〔内用液剤及びX線造影剤の微生物試験法に用いる培地等一覧表〕

試験法 \ 培地等	MPN法用 培地	カンテン平板 混釈法用培地	増菌用培地	分離用培地	保存用培地	確認試験法等
生菌数 測定試験法	・ SCD培地 ・ SCDLP培地 内用液剤のみ	・ SCD寒天培地 (平板培地) ・ SCDLP寒天培地 (平板培地) X線造影剤のみ	—	—	—	—
大腸菌群 検出試験法	—	—	・ 乳糖ブイヨン培地	・ マッコンキー 寒天培地 ・ デスチンレート 寒天培地 ・ EMB寒天培地	・ SCD寒天培地 (斜面培地)	・ グラム染色
緑膿菌 検出試験法	—	—	・ SCD培地 ・ SCDLP培地	・ セトリミド寒天培地	・ SCD寒天培地 (斜面培地)	・ グラム染色 ・ キシダーゼ反応 ・ アルギニン水解試験 ・ アシルアミダーゼ試験 ・ グルコン酸酸化試験
黄色 ブドウ球菌 検出試験法	—	—	・ SCD培地 ・ SCDLP培地	・ フォーゲル・ジョンソン 寒天培地	—	・ グラム染色 ・ コアグラーゼ反応
真菌 試験法	—	—	—	—	—	—

【参考資料】微生物培養基材一覧

製品名		ハイポリペプトン 「塩谷」	ハイポリペプトン	ハイポリペプトンS	ハイポリペプトンN
種類		カゼインペプトン	カゼインペプトン	大豆ペプトン	大豆ペプトン
コード 包装		393-02265 500g	390-02116 500g	398-02173 300g	397-02121 300g
		399-02267 15kg	—	398-02178 10kg	395-02127 10kg
原料		牛乳カゼイン（NZ産）	牛乳カゼイン（NZ産）	脱脂大豆	大豆精製物
消化酵素		動物由来酵素	動物由来酵素	動物・植物由来酵素	微生物由来酵素
用途・選定		●日本薬局方試験に準拠した製品である ●牛乳カゼインは、ニュージーランド産（BSE非発生国）を使用している ●日本での製造所で酵素分解し、最終製品としている ●牛乳カゼインの酵素分解物各種発酵工業用及びワクチン製造他、各種微生物の大量培養に適している	●牛乳カゼインは、ニュージーランド産（BSE非発生国）を使用している ●米国の製造所で酵素分解し、最終製品としている ●牛乳カゼインの酵素分解物各種発酵工業用及びワクチン製造他、各種微生物の大量培養に適している	●ハイポリペプトン「塩谷」、ハイポリペプトンの性能を補足する場合にも使用できる ●発育困難な菌の培養に適している	●製造はハラールおよびコーシャ認証工場で行っている ●動物由来の原料を使用せず、性能はハイポリペプトン「塩谷」、ハイポリペプトンと同等である
規格値	総窒素	11%以上	11%以上	7%以上	12%以上
	アミノ酸窒素量	5～7%	5～7%	3～5%	5～7%
	強熱残分	10%以下	10%以下	23%以下	15%以下
	乾燥減量	6%以下	6%以下	6%以下	6%以下
	酸化物	—	—	—	—
	pH	—	—	—	—

製品名		ハイポリペプトンNS	ハイカザミノ酸「ダイゴ」	粉末酵母エキスD-3H	粉末酵母エキスFH
種類		大豆ペプトン	ペプトン（酸分解物）	酵母エキス	酵母エキス
コード 包装		393-02101 300g	393-02145 500g	398-02151 250g	393-02167 10kg
		391-02107 10kg	399-02147 10kg	396-02157 10kg	－
原料		脱脂大豆	牛乳カゼイン	酵母	酵母
消化酵素		微生物由来酵素	酸分解物	－	－
用途・選定		●製造はハラルおよびコーシャ認証工場で行っている ●動物由来の原料を使用せず、性能はハイポリペプトンSと同等である	●たん白質はほとんどアミノ酸まで分解されている ●基礎的分野に使用する培地又はビタミンの定量用培地の純窒素源として用いられる ●酵素消化ペプトンの使用が好ましくない培地への栄養源としても利用できる	●水溶性成分を独自の自己消化法により抽出 ●淡褐色粉末で、ビタミン群、各種ミネラル類等を含有している	●水溶性成分を独自の自己消化法により抽出 ●淡褐色粉末で、ビタミン群、各種ミネラル類等を含有している
規格値	総窒素	7%以上	7%以上	10%以上	10%以上
	アミノ酸窒素量	3～5%	54～83%	5%以上	－
	強熱残分	23%以下	52%以下	15%以下	15%以下
	乾燥減量	9%以下	8%以下	8%以下	6%以下
	酸化物	－	28～40%	－	－
	pH	－	6～7	－	5～6

品目別目次

和 光 コードNo.	品 名	用 途	包 装	頁
---------------	-----	-----	-----	---

【Ⅰ】日局試験用培地

日局試験用培地

393-01621	液状チオグリコール酸培地「ダイゴ」日局試験用	無菌試験法 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法	300g	1
390-01631	変法チオグリコール酸培地「ダイゴ」日局試験用	無菌試験法	300g	1
394-01771	ソイビーン・カゼイン・ダイジェストカンテン培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法、生薬の微生物限度試験法 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法 保存効力試験法	300g	2
397-01761	ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト培地「ダイゴ」日局試験用	無菌試験法、微生物限度試験法 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法 培地充てん試験（プロセスシミュレーション） 生薬の微生物限度試験法	300g	2
392-01831	サブロー・ブドウ糖カンテン培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法、生薬の微生物限度試験法 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法 保存効力試験法	300g	3
398-01811	サブロー・ブドウ糖液体培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法	300g	3
399-01841	ポテト・デキストロースカンテン培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法、生薬の微生物限度試験法 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法 保存効力試験法	300g	4
395-01701	モーゼル腸内細菌増菌ブイヨン培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法、生薬の微生物限度試験法	300g	4
398-01791	バイオレット・レッド・胆汁酸・ブドウ糖カンテン培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法、生薬の微生物限度試験法	300g	5
391-01801	マッコンキー液体培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法	300g	5
390-01751	マッコンキーカンテン培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法	300g	6
391-01801	ラバポート・バシリアジス・サルモネラ増菌液体培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法	300g	6
396-01731	X L D (キシロ-スリシン・デソキオール酸)カンテン培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法、生薬の微生物限度試験法	300g	7
399-01721	セトリミドカンテン培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法	300g	7
396-01851	マンニット食塩カンテン培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法、生薬の微生物限度試験法	300g	8
391-01781	強化クロストリジア培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法	300g	8
395-01821	コロンビアカンテン培地「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法	300g	9
395-01181	フォーゲル・ジョンソン寒天培地「ダイゴ」日局試験用	生薬の微生物限度試験法	300g	9
392-01191	ベアード・パーカー寒天培地「ダイゴ」日局試験用	生薬の微生物限度試験法	300g	10
397-01325	日局充てん試験対応ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト培地「ダイゴ」	培地充てん試験（プロセスシミュレーション）	500g	10

洗浄液

392-01711	ペプトン食塩緩衝液pH7.0「ダイゴ」日局試験用	微生物限度試験法、生薬の微生物限度試験法 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法	300g	11
397-00281	L P 希釈液「ダイゴ」	無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法 防腐剤不活化検体前処理用	30g×5	11

品目別目次

和 光 コードNo.	品 名	用 途	包 装	頁
---------------	-----	-----	-----	---

【Ⅱ】試験・検査用培地

一般細菌検査用

396-00175	S C D寒天培地「ダイゴ」	一般細菌生菌数測定、分離	500g	12
393-00185	S C D培地「ダイゴ」	一般細菌生菌数測定、増菌、無菌試験用	500g	12
398-00255	S C D L P寒天培地「ダイゴ」	防腐剤不活化、一般細菌生菌数測定、分離	500g	13
395-00265	S C D L P培地「ダイゴ」	防腐剤不活化、一般細菌生菌数測定、増菌	500g	13

生産ライン無菌試験用

392-00817	S C D濃縮液体培地「ダイゴ」	生産ライン無菌試験用	12.5kg	14
-----------	------------------	------------	--------	----

腸内細菌検査用

390-00391	E E Mブイヨン培地「ダイゴ」	サルモネラ前培養	300g	14
390-00411	ハーナ・テトラチオン酸塩基礎培地「ダイゴ」	サルモネラ・アリゾナ増菌	300g	15
395-00461	D H L寒天培地「ダイゴ」	サルモネラ・シゲラ分離	300g	15
397-00421	X L D寒天培地「ダイゴ」	サルモネラ・シゲラ分離	300g	16
396-02211	セレナイト・シスチン基礎培地「ダイゴ」	腸内細菌検査用、サルモネラ増菌用	300g	16
393-02221	テトラチオネート培地「ダイゴ」	腸内細菌検査用、サルモネラ増菌用	300g	17
390-02231	ブリリアントグリーン寒天培地「ダイゴ」	腸内細菌検査用、サルモネラ増菌用	300g	17
397-02241	亜硫酸ビスマス寒天培地「ダイゴ」	腸内細菌検査用、サルモネラ増菌用	300g	18
394-02251	T S I寒天培地「ダイゴ」	腸内細菌検査用、サルモネラ増菌用	300g	18

大腸菌（群）検査用

397-00301	乳糖ブイヨン培地「ダイゴ」	大腸菌群生菌数測定、増菌、確認	300g	19
396-02191	乳糖ブイヨン「ダイゴ」日局16処方	大腸菌（群）検査用、大腸菌群増菌用	300g	19
395-00341	デスオキシコレート寒天培地「ダイゴ」	大腸菌群分離	300g	20
398-00451	B G L B培地「ダイゴ」	食品の大腸菌群検査	300g	20
392-00471	E C培地「ダイゴ」	食品の大腸菌検査	300g	21
399-02201	E M B寒天培地「ダイゴ」	大腸菌（群）検査用、大腸菌群増菌用	300g	21

食品中の生菌数測定用

393-00381	標準寒天培地「ダイゴ」	食品の生菌数測定	300g	22
-----------	-------------	----------	------	----

真菌検査用

399-02181	G P寒天培地「ダイゴ」	真菌検査用、生菌数測定用（真菌）	300g	22
394-00235	G P L P寒天培地「ダイゴ」	防腐剤不活化、真菌生菌数測定、分離	500g	23
391-00245	G P L P培地「ダイゴ」	防腐剤不活化、真菌生菌数測定、増菌	500g	23
392-01875	サブロー・ブドウ糖L Pカンテン培地「ダイゴ」	防腐剤不活化、真菌生菌数測定、分離	500g	24
399-01885	サブロー・ブドウ糖L P液体培地「ダイゴ」	防腐剤不活化、真菌生菌数測定、増菌	500g	24

従属栄養細菌検査用

396-01611	R2A寒天培地「ダイゴ」	従属栄養細菌検査	300g	25
395-01681	R2A培地「ダイゴ」	従属栄養細菌検査	300g	25

品目別目次

和 光 コードNo.	品 名	用 途	包 装	頁
<u>その他検査用</u>				
390-00151	坑徴培地「ダイゴ」	真菌抑制・細菌分離	50g	26
<u>菌株の復元・維持培養用</u>				
398-01671	L-乾燥標品復元用培地「ダイゴ」	菌株の復元、維持培養	1セット	26
【Ⅲ】培養基材				
<u>ペプトン（カゼイン・大豆）</u>				
393-02265	ハイポリペプトン「塩谷」	微生物培養基用 【局方試験 準拠品】	500g	27
399-02267	〃	〃	15kg	
390-02116	ハイポリペプトン	微生物培養基用	500g	27
398-02173	ハイポリペプトンS	微生物培養基用	300g	28
398-02178	〃	〃	10kg	
397-02121	ハイポリペプトンN	微生物培養基用 【ハラル認定工場製造】	300g	28
395-02127	〃	〃	10kg	
393-02101	ハイポリペプトンNS	微生物培養基用 【ハラル・コーシャ認定工場製造】	300g	29
391-02107	〃	〃	10kg	
393-02145	ハイカザミノ酸「ダイゴ」	微生物培養基用	500g	29
399-02147	〃	〃	10kg	
<u>酵母エキス</u>				
398-02151	粉末酵母エキスD・3 H	微生物培養基用	250g	30
396-02157	〃	〃	10kg	
393-02167	粉末酵母エキスF H	微生物培養基用	10kg	30
【Ⅳ】細胞培養用培地				
<u>植物培養用</u>				
392-00591	ムラシゲ・スクーグ培地用混合塩類	ムラシゲ・スクーグ培地用	1 L用×20	31
396-02037	〃	〃	10 L用×5	
399-00621	ガンボーグB 5 培地用混合塩類	ガンボーグB 5 培地用	1 L用×20	31
391-02021	チューー（N 6）培地用混合塩類	チューー（N 6）培地用	1 L用×20	32
399-02027	〃	〃	10 L用×5	
<u>海産微細藻類培養用</u>				
398-01333	ダイゴ I M K 培地	海産微細藻類培養	100L用×10	32
392-01331	〃	〃	1000L用	
395-01343	ダイゴ人工海水 S P	海産微細藻類培養	1L用×10	33

品目別目次

和 光 コードNo.	品 名	用 途	包 装	頁
---------------	-----	-----	-----	---

【V】そ の 他

遺伝子工学・大腸菌用

396-00871	L B 培地「ダイゴ」	大腸菌用培地	100mL用×50	34
393-00881	L B 寒天培地「ダイゴ」	大腸菌用培地	100mL用×50	34

試薬

397-00161	カピサイジン	真菌抑制（抗生物質）	100mg力価×5	35
390-00271	レシチン	防腐剤不活化	10g	35
398-00331	1%亜テルル酸カリウム溶液「ダイゴ」	ゾーグルゾノカノ寒天培地、バードバーカ寒天培地添加用	2mL×50	36

※ 参考

使用期限の設定が無い製品については、お客様で基準を決めて設定下さい。
例）購入後 ○年間の使用期限とする

日局試験用

液状チオグリコール酸培地
「ダイゴ」日局試験用Fluid Thioglycollate Medium
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】393-01621 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

Ｌ－シスチン	0.5g
カンテン	0.75g
塩化ナトリウム	2.5g
ブドウ糖	5.0g
酵母エキス	5.0g
カゼイン製ペプトン	15.0g
チオグリコール酸ナトリウム	0.5g
レザズリン	0.001g
滅菌後のpH	6.9 ～ 7.3

調 製 法

本品29.3gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加熱溶解し、容器に分注後、バリデートされた方法で滅菌した後、2～25℃で保存する。

用 途

日局18 無菌試験法

日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法

※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
(令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276*Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275*Clostridium sporogenes* NBRC 14293

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

変法チオグリコール酸培地「ダイゴ」
日局試験用Alternative Thioglycollate Medium
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】390-01631 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

Ｌ－シスチン	0.5g
塩化ナトリウム	2.5g
ブドウ糖	5.0g
酵母エキス	5.0g
カゼイン製ペプトン	15.0g
チオグリコール酸ナトリウム	0.5g
滅菌後のpH	6.9 ～ 7.3

調 製 法

本品28.5gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後、バリデートされた方法で滅菌した後、2～25℃で保存する。

用 途

日局18 無菌試験法

試 験 菌 株

Clostridium sporogenes NBRC 14293

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト
カンテン培地「ダイゴ」日局試験用Casein soya bean digest agar
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】394-01771 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	15.0g
ダイズ製ペプトン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	7.1 ~ 7.5

調 製 法

本品40gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加熱溶解し、容器に分注後、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
 日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
 日局18 保存効力試験法
 日局18 生薬の微生物限度試験法
 ※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
 (令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276
Pseudomonas aeruginosa NBRC 13275
Bacillus subtilis NBRC 3134
Candida albicans NBRC 1594
Aspergillus brasiliensis NBRC 9455
Escherichia coli NBRC 3972

使用 期 限

製造後 2年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト
「ダイゴ」日局試験用Casein soya bean digest broth
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】397-01761 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	17.0g
ダイズ製ペプトン	3.0g
塩化ナトリウム	5.0g
リン酸水素ナトリウム	2.5g
ブドウ糖一水和物	2.5g
滅菌後のpH	7.1 ~ 7.5

調 製 法

本品29.8gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 無菌試験法
 日局18 微生物限度試験法
 日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
 日局17 培地充てん試験 (プロセスシミュレーション)
 日局18 生薬の微生物限度試験法
 ※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
 (令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276
Pseudomonas aeruginosa NBRC 13275
Bacillus subtilis NBRC 3134
Candida albicans NBRC 1594
Aspergillus brasiliensis NBRC 9455
Escherichia coli NBRC 3972

使用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

サブロー・ブドウ糖カンテン培地
「ダイゴ」日局試験用Sabouraud-dextrose agar
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】392-01831 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

ブドウ糖	40.0g
ペプトン (肉製及びカゼイン製 1:1)	10.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	5.4 ~ 5.8

調 製 法

本品65gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加熱溶解し、容器に分注後、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
 日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
 日局18 保存効力試験法
 日局18 生薬の微生物限度試験法
 ※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
 (令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Candida albicans NBRC 1594
Aspergillus brasiliensis NBRC 9455

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

サブロー・ブドウ糖液体培地
「ダイゴ」日局試験用Sabouraud-dextrose broth
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】398-01811 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

ペプトン (肉製及びカゼイン製 1:1)	10.0g
ブドウ糖	20.0g
滅菌後のpH	5.4 ~ 5.8

調 製 法

本品30gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
 日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
 ※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
 (令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Candida albicans NBRC 1594

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ポテト・デキストロースカンテン培地
「ダイゴ」日局試験用Potato dextrose agar
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】399-01841 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

ポテトエキス	4.0g
ブドウ糖	20.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	5.4 ~ 5.8

調 製 法

本品39gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加熱溶解し、容器に分注後、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
 日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
 日局18 保存効力試験法
 日局18 生薬の微生物限度試験法
 ※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
 (令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Candida albicans NBRC 1594
Aspergillus brasiliensis NBRC 9455

使用期限

製造後 2年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

モーゼル腸内細菌増菌ブイヨン培地
「ダイゴ」日局試験用Enterobacteria enrichment broth-Mossel
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】395-01701 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

ゼラチン製ペプトン	10.0g
ブドウ糖一水和物	5.0g
乾燥ウシ胆汁	20.0g
リン酸二水素カリウム	2.0g
リン酸水素二ナトリウム二水和物	8.0g
ブリリアントグリーン	15.0mg
加熱後のpH	7.0 ~ 7.4

調 製 法

本品42.9gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、100℃で30分間加熱し、直ちに冷却する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
 日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Escherichia coli NBRC 3972
Pseudomonas aeruginosa NBRC 13275
Staphylococcus aureus NBRC 13276
Salmonella enterica subsp. enterica serovar Abony NBRC 100797

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

バイオレット・レッド・胆汁酸・ブドウ糖
カンテン培地「ダイゴ」日局試験用Violet red bile glucose agar
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 398-01791 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

酵母エキス	3.0g
ゼラチン製ペプトン	7.0g
胆汁酸塩	1.5g
塩化ナトリウム	5.0g
ブドウ糖一水和物	10.0g
カンテン	15.0g
ニュートラルレッド	30mg
クリスタルバイオレット	2mg
加熱後のpH	7.2 ~ 7.6

調 製 法

本品41.5gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、煮沸するまで加熱する。
オートクレーブで加熱してはならない。

用 途

日局18 微生物限度試験法
日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Pseudomonas aeruginosa NBRC 13275
Escherichia coli NBRC 3972
Salmonella enterica subsp. enterica serovar Abony NBRC 100797

使 用 期 限

製造後 2年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、
廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き
文教出版 (2022)

日局試験用

マッコンキー液体培地
「ダイゴ」日局試験用MacConkey broth
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 391-01801 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

ゼラチン製ペプトン	20.0g
乳糖一水和物	10.0g
乾燥ウシ胆汁	5.0g
プロモクレゾールパープル	10mg
滅菌後のpH	7.1 ~ 7.5

調 製 法

本品35gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、容器に分注する。確認さ
れたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276
Escherichia coli NBRC 3972

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、
廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き
文教出版 (2022)

日局試験用

マッコンキーカンテン培地
「ダイゴ」日局試験用MacConkey agar
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】390-01751 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

ゼラチン製ペプトン	17.0g
カゼイン製ペプトン	1.5g
肉製ペプトン	1.5g
乳糖一水和物	10.0g
塩化ナトリウム	5.0g
胆汁酸塩	1.5g
カンテン	13.5g
ニュートラルレッド	30mg
クリスタルバイオレット	1mg
滅菌後のpH	6.9 ~ 7.3

調 製 法

本品50gに精製水1Lを加えよく振り混ぜる。絶えず振り混ぜながら1分間煮沸させてから、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法

試 験 菌 株

Escherichia coli NBRC 3972

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ラパポート・バシリアジス・サルモネラ
「ダイゴ」日局試験用Rappaport Vassiliadis Salmonella
Enrichment Broth
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】393-01741 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

ダイズ製ペプトン	4.5g
塩化マグネシウム六水和物	29.0g
塩化ナトリウム	8.0g
リン酸水素ナトリウム	0.4g
リン酸二水素ナトリウム	0.6g
マラカイトグリーン	36mg
滅菌後のpH	5.0 ~ 5.4

調 製 法

本品27.1gに精製水1Lを加え若干加温しながら溶かし、容器に分注後、115℃を超えない温度で、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法

試 験 菌 株

Salmonella enterica subsp. enterica serovar Abony NBRC 100797
Staphylococcus aureus NBRC 13276

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

XLD（キシロース・リジン・デオキシコール酸）
カンテン培地「ダイゴ」日局試験用

Xylose, lysine, deoxycholate agar
 》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】396-01731（300g）

組 成（精製水1L当たり）

キシロース	3.5g
Ｌ－リジン	5.0g
乳糖－水和物	7.5g
白糖	7.5g
塩化ナトリウム	5.0g
酵母エキス	3.0g
フェノールレッド	80mg
デオキシコール酸ナトリウム	2.5g
チオ硫酸ナトリウム	6.8g
クエン酸アンモニウム鉄（Ⅲ）	0.8g
カンテン	13.5g
加熱後のpH	7.2 ～ 7.6

調 製 法

本品55.2gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、煮沸するまで加熱し、50℃まで冷却してからシャーレに注ぎ込む。
 オートクレーブで加熱してはならない。

用 途

日局18 微生物限度試験法
 日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Salmonella enterica subsp. enterica serovar Abony NBRC 100797

使用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店（2021）
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版（2022）

日局試験用

セトリミドカンテン培地
「ダイゴ」日局試験用

Cetrimide agar
 》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】399-01721（300g）

組 成（精製水1L当たり）

ゼラチン製ペプトン	20.0g
塩化マグネシウム	1.4g
硫酸カリウム	10.0g
セトリミド	0.3g
カンテン	13.6g
（グリセリン）	（10.0mL）
滅菌後のpH	7.0 ～ 7.4

調 製 法

本品45.3gとグリセリン10.0mLを精製水1Lに加え、振り混ぜながら加熱して1分間煮沸する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法

試 験 菌 株

Pseudomonas aeruginosa NBRC 13275
Escherichia coli NBRC 3972

使用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店（2021）
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版（2022）

日局試験用

マンニット・食塩カンテン培地
「ダイゴ」日局試験用Mannitol salt agar
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】396-01851 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	5.0g
肉製ペプトン	5.0g
牛肉エキス	1.0g
D-マンニトール	10.0g
塩化ナトリウム	75.0g
フェノールレッド	25mg
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	7.2 ~ 7.6

調 製 法

本品111gを精製水1Lに加え、振り混ぜながら加熱して1分間煮沸する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276
Escherichia coli NBRC 3972

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

強化クロストリジア培地
「ダイゴ」日局試験用Reinforced medium for Clostridia
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】391-01781 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

牛肉エキス	10.0g
ペプトン	10.0g
酵母エキス	3.0g
溶性デンプン	1.0g
ブドウ糖一水和物	5.0g
システイン塩酸塩	0.5g
塩化ナトリウム	5.0g
酢酸ナトリウム	3.0g
カンテン	0.5g
滅菌後のpH	6.6 ~ 7.0

調 製 法

本品37.5gを精製水1Lに加え、絶えずかき混ぜながら煮沸するまで加熱して溶かす。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
(令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Clostridium sporogenes NBRC 14293

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

コロンビアカンテン培地
「ダイゴ」日局試験用Columbia agar
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】395-01821 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	10.0g
肉浸出物のペプシン消化物	5.0g
心筋浸出物のパンクレアチン消化物	3.0g
酵母エキス	5.0g
トウモロコシデンプン	1.0g
塩化ナトリウム	5.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	7.1 ~ 7.5

調 製 法

本品44gを精製水1Lに加えよく振り混ぜる。絶えずかき混ぜながら煮沸するまで加熱して溶かす。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法

試 験 菌 株

Clostridium sporogenes NBRC 14293

使用期限

製造後 2年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

フォーゲル・ジョンソン寒天培地
「ダイゴ」日局試験用Vogel-Johnson Agar Medium
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】395-01181 (300g)

組 成 (精製水1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	10.0g
酵母エキス	5.0g
D-マンニトール	10.0g
リン酸水素ニカリウム	5.0g
塩化リチウム	5.0g
グリシン	10.0g
フェノールレッド	25mg
カンテン	16.0g
滅菌後のpH	7.0 ~ 7.4

調 製 法

本品61gを精製水1Lに加え溶かす。1分間煮沸して溶かす。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌後、45 ~ 50℃に冷却する。これに滅菌亜テルル酸カリウム溶液(1→100) 20 mLを加えて混和する

用 途

日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、2~10℃に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ベアード・パーカー寒天培地
「ダイゴ」日局試験用Baird-Parker Agar Medium
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】392-01191 (300g)

組 成 (精製水950ml当たり)

カゼイン製ペプトン	10.0g
肉エキス	5.0g
酵母エキス	1.0g
塩化リチウム	5.0g
グリシン	12.0g
焦性ブドウ酸ナトリウム	10.0g
カンテン	20.0g
滅菌後のpH	6.6 ~ 7.0

調 製 法

本品63gを精製水950mLに加え溶かす。時々激しく振り混ぜながら加熱し、1分間煮沸溶解する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。40～50℃に冷却後、滅菌垂テルル酸カリウム溶液(1→100)10mLと卵黄乳濁液(卵黄約30%と生理食塩水約70%の混和調製液) 50mLを加えて混和する。

用 途

日局18 生薬の微生物限度試験法

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、2～10℃に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

日局充てん試験対応
ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト
培地「ダイゴ」Fluid Soybean-Casein Digest Medium
》DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】397-01325 (500g)

組 成 (精製水1L当たり)

カゼイン製ペプトン	17.0g
ダイズ製ペプトン	3.0g
塩化ナトリウム	5.0g
リン酸水素ナトリウム	2.5g
ブドウ糖一水和物	2.5g
滅菌後のpH	7.1 ~ 7.5

調 製 法

本品29.8gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局17 培地充てん試験 (プロセスシミュレーション)

※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
(令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

試 験 菌 株

Staphylococcus aureus NBRC 13276
Pseudomonas aeruginosa NBRC 13275
Bacillus subtilis NBRC 3134
Candida albicans NBRC 1594
Aspergillus brasiliensis NBRC 9455

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

日局試験用

ペプトン食塩緩衝液
pH7.0「ダイゴ」日局試験用Buffered sodium chloride-peptone
solution pH 7.0
》 DAIGO 《 for JP Pharmacopoeia test

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 392-01711 (300g)

組 成 (精製水1 L当たり)

リン酸二水素カリウム	3.6g
リン酸水素ナトリウム二水和物	7.2g
塩化ナトリウム	4.3g
ペプトン (肉製又はカゼイン製)	1.0g
滅菌後のpH	6.9 ~ 7.1

調 製 法

本品14.6gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、容器に分注する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局18 微生物限度試験法
日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
日局18 生薬の微生物限度試験法
※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
(令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

使 用 期 限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)
- 2) 第十八改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2022)

医薬品・化粧品検査

防腐剤不活化・検体前処理用

L P 希釈液「ダイゴ」

Diluent with
Lecithin & Polysorbate 80
》 DAIGO 《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 397-00281 (30g×5)

概 要

本品は、米国CTFA(Cosmetic, Toiletries and Fragrances Association) で使用されているもので、防腐剤を含有する医薬品・化粧品の微生物汚染試験 (生菌数測定) に際し、これら検体を均一な乳化液とすること、又前処理操作時の検体中の細菌及び真菌の死滅を防ぎ、製剤中の防腐剤を不活化することを目的とした希釈液である。

組 成 (精製水1 L当たり)

カゼイン製ペプトン	1.0g
レシチン	0.7g
ポリソルベート80	20.0g
精製水	8.3g
滅菌後のpH	7.0 ~ 7.4

調 製 法

使用時本品を適度に加熱して全量 (30g) を精製水1Lに加えよくかき混ぜたのち、加熱溶解し、容器に分注後、121℃で15~20分間高圧蒸気滅菌する。

用 途

日局17 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
防腐剤不活化検体前処理用
※ 第17改正日局第二追補から削除された試験法は引き続き参考とする
(令和元年6月28日 厚労省 医薬・生活衛生局 事務連絡より抜粋)

注 意 事 項

本品は2~10℃の冷暗所に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 石関忠一：日本化粧品技術者連合会誌 7 (1), 1, 1971.
化粧品の微生物汚染とその検査法について。
- 2) 岩原繁雄：医薬品研究3(4), 444, 1972.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法(第1報)。
- 3) 石関忠一：医薬品研究4(2), 175, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法(第3報)。
- 4) 石関忠一他：衛生試験所報告第91号, 1973.
防腐剤に関する研究、とくにポリソルベート80及びレシチンによる不活化作用について。
- 5) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2021)。

一般細菌検査用

医薬品・化粧品検査

生菌数測定用（細菌）

SCD寒天培地「ダイゴ」

Soybean-Casein Digest Agar
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】396-00175（500g）

概 要

本品は、薬発第297号「内用液剤及びX線造影剤の菌数の限度及び試験法について」などに収載のソイビーン・カゼイン・ダイジェスト・カンテン培地（SCDカンテン培地、米国薬局方収載）に該当する培地で、医薬品及び化粧品の微生物汚染試験に際し、これら製剤あるいは原料中の一般生菌数（細菌）を測定する目的に使用できる。

なお、本品は普通寒天培地に発育困難なレンサ球菌、肺炎球菌、ナイセリア、ブルセラ、コリネバクテリウム、バクツレラ等の細菌が容易に発育するので、これらの検出用培地としても使用できる。又、本品は微生物検査必携に収載されているトリプチケースソイ寒天培地に相当する。

組 成（精製水1L当たり）

カゼイン製ペプトン	15.0g
ダイズ製ペプトン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	7.1 ～ 7.5

調 製 法

本品40gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。

用 途

- ・医薬品及び化粧品の製剤あるいは原料中の一般生菌数試験
- ・普通寒天培地で発育困難な細菌の検出用

使用期限

製造後 2年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 厚生省薬務局長通知：薬発第297号，昭和51.4.1.
- 2) 米国薬局方：Microbiological Tests.
- 3) 石関忠一：日本化粧品技術者連合会誌7(1),1, 1971.
化粧品の微生物汚染とその検査法について。
- 4) 岩原繁雄：医薬品研究3(4), 444, 1972.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第1報）。
- 5) 石関忠一：医薬品研究4(1),56,1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）。
- 6) 石関忠一：医薬品研究4(2), 175, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第3報）。
- 7) C.W.Bruch:Drug & Cosmetic Industry,110(6),32,1972.
Possible modification of USP Microbial Limits and Tests.
- 8) 日本公衆衛生協会：微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版
各論12培地一覧，1987.

一般細菌検査用

医薬品・化粧品検査

無菌試験・生菌数測定用（細菌）

SCD培地「ダイゴ」

Soybean-Casein Digest Broth
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】393-00185（500g）

概 要

本品は、薬発第297号「内用液剤及びX線造影剤の菌数の限度及び試験法について」などに収載のソイビーン・カゼイン・ダイジェスト・ブロス培地（SCD液状培地、米国薬局方収載）に該当する培地で、生物学的製剤基準にも収載されており、医薬品の無菌試験あるいは医薬品及び化粧品の微生物汚染試験に際し、これら製剤あるいは原料中の一般生菌数（細菌）を測定する目的に使用できる。なお、本品は発育困難な病原菌の増菌用培地としても使用できる。

組 成（精製水1L当たり）

カゼイン製ペプトン	17.0g
ダイズ製ペプトン	3.0g
リン酸水素ニカリウム	2.5g
ブドウ糖一水和物	2.5g
塩化ナトリウム	5.0g
滅菌後のpH	7.1 ～ 7.5

調 製 法

本品29.8gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。

用 途

- ・医薬品の無菌試験
- ・医薬品及び化粧品の微生物汚染試験
- ・製剤あるいは原料中の一般生菌数試験
- ・発育困難な病原菌の増菌用

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 厚生省薬務局長通知：薬発第297号，昭和51.4.1.
- 2) 米国薬局方：Microbiological Tests.
- 3) 生物学的製剤基準：一般試験法・無菌試験法、2004
- 4) 石関忠一：日本化粧品技術者連合会誌7(1), 1, 1971.
化粧品の微生物汚染とその検査法について。
- 5) 岩原繁雄：医薬品研究3(4), 444, 1972.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第1報）。
- 6) 石関忠一：医薬品研究4(1),56,1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）。
- 7) 石関忠一：医薬品研究4(2), 175, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第3報）。
- 8) C.W.Bruch:Drug & Cosmetic Industry,110(6),32,1972.
Possible modification of USP Microbial Limits and Tests.
- 9) J.E. Doyle et al：Applied Microbiology, 16,1742,1968.
Limitations of thioglycollate broth as a sterility test medium for materials exposed to gaseous ethylene oxide.

一般細菌検査用

医薬品・化粧品検査

防腐剤不活化・生菌数測定用（細菌）

SCDLP寒天培地「ダイゴ」

Soybean-Casein Digest Agar with
Lecithin & Polysorbate 80 》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】398-00255（500g）

概 要

本品は、薬発第297号「内用液剤及びX線造影剤の菌数の限度及び試験法について」などに別添、医薬品の微生物試験法に収載のレシチン・ポリソルベート80加ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト・カンテン培地（SCDLPカンテン培地）に該当する培地で、医薬品・化粧品中に添加された防腐剤を不活化することによって、汚染微生物の増殖を可能にするもので、防腐剤（Quaternary ammonium compounds, Chlorhexidine, Hexachlorophene, Phenolic compounds, Derivatives of benzoic acid, Organometallic tin compounds, その他）を含有する製剤中の一般生菌数（細菌）を測定する目的に使用できる。

組 成（精製水1L当たり）

カゼイン製ペプトン	15.0g
ダイズ製ペプトン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
カンテン	15.0g
レシチン	1.0g
ポリソルベート80	7.0g
滅菌後のpH	7.1 ～ 7.5

調 製 法

本品48gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、90℃以上に加熱し、数分間攪拌し溶解、容器に分注後、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。滅菌後、直ちに注意しながらよく振り混ぜ、容器底に沈澱しているポリソルベート層を均一化する。

用 途

・防腐剤を含有する製剤中の一般生菌数（細菌）試験

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので固く密栓し2～10℃に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 厚生省薬務局長通知：薬発第297号，昭和51.4.1.
- 2) 石関忠一：日本化粧品技術者連合会誌 7(1), 1, 1971.
化粧品の微生物汚染とその検査法について。
- 3) 岩原繁雄：医薬品研究3(4), 444, 1972.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法(第1報)。
- 4) 石関忠一：医薬品研究 4(1), 56, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）。
- 5) C.W.Bruch: Drug & Cosmetic Industry, 110(6), 32, 1972.
Possible modifications of USP Microbial Limits and Tests.
- 6) S.Robert et al.: J. Pharm.Sci., 52(10), 967, 1963.
Effectiveness of antibacterial agents presently employed in ophthalmic preparation as preservatives against pseudomonas aeruginosa.
- 7) 石関忠一：医薬品研究4(2), 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法(第3報)。
- 8) 石関忠一他：衛生試験所報告第91号，1973。
防腐剤に関する研究、とくにポリソルベート80及びレシチンによる不活化作用について。

一般細菌検査用

医薬品・化粧品検査

防腐剤不活化・生菌数測定用（細菌）

SCDLP培地「ダイゴ」

Soybean-Casein Digest Broth with
Lecithin & Polysorbate 80 》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】395-00265（500g）

概 要

本品は、薬発第297号「内用液剤及びX線造影剤の菌数の限度及び試験法について」などに別添、医薬品の微生物試験法に収載のレシチン・ポリソルベート80加ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト・ブロス培地（SCDLP液状培地）に該当する培地で、医薬品・化粧品中に添加された防腐剤を不活化することによって、汚染微生物の増殖を可能にするもので、防腐剤（Quaternary ammonium compounds, Chlorhexidine, Hexachlorophene, Phenolic compounds, Derivatives of benzoic acid, Organometallic tin compounds, その他）を含有する製剤中の一般生菌数（細菌）の測定及び大腸菌群、サルモネラ、ブドウ球菌、緑膿菌等を増殖する目的に使用できる。

組 成（精製水1L当たり）

カゼイン製ペプトン	17.0g
ダイズ製ペプトン	3.0g
塩化ナトリウム	5.0g
リン酸水素ニカリウム	2.5g
ブドウ糖一水和物	2.5g
レシチン	1.0g
ポリソルベート80	7.0g
滅菌後のpH	6.8 ～ 7.2

調 製 法

本品37.8gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、90℃以上に加熱し、数分間攪拌し溶解、容器に分注後、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。滅菌後、直ちに注意しながらよく振り混ぜ、容器底に沈澱しているポリソルベート層を均一化する。

用 途

・防腐剤を含有する製剤中の一般生菌数（細菌）試験
・大腸菌群、サルモネラ、ブドウ球菌、緑膿菌等の増菌

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので固く密栓し2～10℃に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 厚生省薬務局長通知：薬発第297号，昭和51.4.1.
- 2) 石関忠一：日本化粧品技術者連合会誌 7(1), 1, 1971.
化粧品の微生物汚染とその検査法について。
- 3) 岩原繁雄：医薬品研究3(4), 444, 1972.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法(第1報)。
- 4) 石関忠一：医薬品研究 4(1), 56, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）。
- 5) C.W.Bruch: Drug & Cosmetic Industry, 110(6), 32, 1972.
Possible modifications of USP Microbial Limits and Tests.
- 6) S.Robert et al.: J. Pharm.Sci., 52(10), 967, 1963.
Effectiveness of antibacterial agents presently employed in ophthalmic preparation as preservatives against pseudomonas aeruginosa.
- 7) 石関忠一：医薬品研究4(2), 175, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法(第3報)。
- 8) 石関忠一他：衛生試験所報告第91号，1973。
防腐剤に関する研究、とくにポリソルベート80及びレシチンによる不活化作用について。

一般細菌検査用

製造ライン無菌試験用

腸内細菌検査用

サルモネラ前培養用

SCD濃縮液体培地「ダイゴ」

Soybean-Casein Digest Paste
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】392-00817（12.5kg）

概 要

本品は、ペースト状のSCD培地で用時希釈して、無菌食品製造や、医薬品の注射剤ラインの無菌性をチェックする培地である。

組 成（1缶 [12.5kg] 当たり [60%溶液]）

カゼイン製ペプトン	4,250.0g
ダイズ製ペプトン	750.0g
リン酸水素ナトリウム	625.0g
ブドウ糖一水和物	625.0g
塩化ナトリウム	1,250.0g
精製水	5,000.0g
調整後のpH	7.1 ～ 7.5

調 製 法

本品1缶（12.5kg）を精製水に加え全量250～500 Lに調製する。
本調製液を通常の製造手順にしたがい、無菌充てんライン（タンク等）に流し小分け、閉栓等の最終工程を経た充てん品を30～35℃で72時間培養し菌の有無を検査する。

特 徴

- 1) 医薬品の無菌試験に用いられている増殖性能の高い培地である
- 2) ペースト状で、水になじみ易く、短時間で完全澄明に溶ける
- 3) 調製時の粉塵がなく、環境にも悪影響を与えない

使用例

- 1) 無菌充てんラインの組立作業後のテストライン及び定期的な点検時に使用する
- 2) 設備や装置の改造後に使用する
- 3) 滅菌装置の連続的作動性のチェックに使用する
- 4) ラインの定期的な点検

注 意 事 項

本品は、着色し易いため、2～10℃に保存すること。
尚、納品後6カ月以内に使用し、開栓後は速やかに使用すること。

EEMブイヨン培地「ダイゴ」

Enterobacteriaceae Enrichment
Mannitol Broth 》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】390-00391（300g）

概 要

本品は、食品のサルモネラ増菌の際に行う前培養用の粉末培地である。

組 成（精製水1L当たり）

ペプトン	10.0g
牛胆汁末	20.0g
D-マンニット	5.0g
リン酸水素ナトリウム	6.5g
リン酸二水素ナトリウム	2.0g
グリリアントグリン	13.5mg
調整後のpH	7.0 ～ 7.4

調 製 法

本品43.5gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、適当な容器に分注後、100℃で30分間加熱溶解し、すみやかに冷却する。なお、高圧蒸気滅菌及び過熱をさける。

用 途

- ・食品のサルモネラ増菌の際に行う前培養

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004.
- 2) 石関忠一：医薬品研究 4 (1), 56, 1973.
医薬品・化粧品微生物汚染試験法（第2報）.

腸内細菌検査用

サルモネラ・アリゾナ増菌用

ハーナ・テトラチオン酸塩 基礎培地「ダイゴ」

Hajna Tetrathionate
Broth Base 》DAIGO 》

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】390-00411 (300g)

概 要

本品は、Hajnaらが1956年に発表した組成に準拠し、サルモネラ及びアリゾナの増菌を目的とする粉末培地であり、食品、医薬品などに利用できる。但し、腸チフス症の原因となるサルモネラなどの増菌には適さない。

組 成（精製水1 L当たり）

ペプトン	18.0g
酵母エキス	2.0g
ブドウ糖	0.5g
D－マンニット	2.5g
塩化ナトリウム	5.0g
デソキシコール酸ナトリウム	0.5g
沈降炭酸カルシウム	25.0g
チオ硫酸ナトリウム	26.0g
ブリリアントグリーン	10mg
調整後のpH	7.2 ～ 7.6

調 製 法

本品80gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解する。45℃以下に冷却しヨード溶液※40mLを加えてよく混和し、沈澱物が均等になるように振りながら滅菌試験管に約10mLずつ分注する。
高圧蒸気滅菌及び過熱をさけ、培地調製後はその日のうちに使用する。
※【ヨード溶液の調製】
ヨウ化カリウム8gを精製水40mLに完全に溶解したのち、さらにヨウ素5gを加えて溶解する。

用 途

- ・食品、医薬品の検査
- ・サルモネラ及びアリゾナの増菌

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) A.A Hajna et al:Appl.Microbiol.,4,341,1956.
New enrichment and plating media for the isolation of salmonella and shigella organisms.
- 2) 石関忠一：医薬品研究4(1),56,1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）.
- 3) 日本公衆衛生協会：微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版
各論12培地一覧，1987.

腸内細菌検査用

サルモネラ・シゲラ分離用

D H L 寒天培地「ダイゴ」

Desoxycholate-Hydrogen
Sulfide-Lactose Agar 》DAIGO 》

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】395-00461 (300g)

概 要

本品は、坂崎ら（1960）がデソキシコレートカンテン培地を改良し、腸内細菌とくにサルモネラ、シゲラ、アリゾナの検出を容易にした粉末培地で、食品、医薬品、化粧品などに利用できる。

組 成（精製水1 L当たり）

肉エキス	3.0g
ペプトン	20.0g
乳糖一水和物	10.0g
白糖	10.0g
胆汁酸塩	1.0g
チオ硫酸ナトリウム	2.5g
クエン酸ナトリウム	1.0g
クエン酸アンモニウム鉄（Ⅲ）	1.0g
ニュートラルレッド	30mg
カンテン	15.0g
溶解後のpH	6.8 ～ 7.2

調 製 法

本品64gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解する。

用 途

- ・食品、医薬品、化粧品の検査
- ・サルモネラ、シゲラ、アリゾナの検出
- ・サルモネラ、アリゾナ及びシトロバクターは産生した硫化水素とクエン酸鉄アンモニウムにより、褐色ないし黒色の集落をつくる
- ・シゲラは無色、透明ないし半透明で他の分離培地よりやや大きい集落をつくる
- ・プロテウスや乳糖及び白糖分解菌は淡紅色の集落をつくる

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) R.Sakazaki et al:Jap.J.Exp.Med.,30 13,1960.
A problem on the pathogenic role of citrobacter of enteric bacteria.
- 2) 岩原繁雄：医薬品研究3(4), 444, 1972.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第1報）.
- 3) 石関忠一：医薬品研究4(1),56,1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）.
- 4) 日本公衆衛生協会：微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版
各論12培地一覧，1987.
- 5) 日本公衆衛生協会：微生物検査必携 細菌・真菌検査
第二版 腸内細菌およびビブリオ用培地 P536,1978.

腸内細菌検査用

サルモネラ・シゲラ分離用

X L D寒天培地「ダイゴ」Xylose-Lysine-Desoxycholate Agar
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】397-00421 (300g)

概 要

本品は、Taylorが1965年に考案したX L培地にデソキシコール酸ナトリウムを加えたサルモネラ及びシゲラの分離を目的とする粉末培地である。

組 成 (精製水1 L当たり)

酵母エキス	3.0g
乳糖ー水和物	7.5g
白糖	7.5g
キシロース	3.5g
Lーリジン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
フェノールレッド	80mg
デソキシコール酸ナトリウム	2.5g
カンテン	13.5g
チオ硫酸ナトリウム	6.8g
クエン酸アンモニウム鉄 (Ⅲ)	0.8g
沸騰後のpH	6.9 ~ 7.3

調 製 法

本品55gを精製水1Lに加えよく振り混ぜ、沸騰するまで加熱する。なお、高圧蒸気滅菌及び過熱をさける。

用 途

- ・食品、医薬品の検査
- ・サルモネラ及びシゲラの分離

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) W.I.Taylor:Am.J.Clin.Path., 44(4), 471, 1965.
Isolation of shigellae (Ⅰ).Xylose lysine agars;
New media for isolation of enteric pathogens.
- 2) W.I.Taylor et al:Am.J.Clin.Path., 44(4), 476, 1965.
Isolation of shigellae (Ⅱ).Comparison of plating media
and enrichment broths.
- 3) 米国薬局方:Microbiological Tests.
- 4) 石関忠一:医薬品研究4(1),56, 1973.
医薬品・化粧品品の微生物汚染試験法 (第2報) .
- 5) 日本公衆衛生協会:微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版
各論12 培地一覧, 1987.

腸内細菌検査用

サルモネラ増菌用

**セレナイト・シスチン基礎培地
「ダイゴ」**Selenite-Cystine Broth Base
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】396-02211 (300g)

概 要

本品は、Leifsonのセレナイト培地を改良したものです。L-シスチンは、サルモネラに対する亜セレン酸の毒性を中和し、サルモネラの回復を助ける。

組 成 (精製水1 L当たり)

ゼラチン製ペプトン	5.0g
乳糖ー水和物	4.0g
リン酸三ナトリウム十二水和物	10.0g
Lーシスチン	10mg
(亜セレン酸ナトリウム)	(4.0g)
溶解後のpH	6.8 ~ 7.2

調 製 法

本品19gと亜セレン酸ナトリウム4gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解する。滅菌してはならない。

用 途

- ・食品、医薬品の検査
- ・サルモネラの増菌

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 日本食品衛生協会:食品衛生検査指針、微生物編、2004.
- 2) 石関忠一:医薬品研究4(1),56,1973.
医薬品・化粧品品の微生物汚染試験法 (第2報) .

腸内細菌検査用

サルモネラ増菌用

テトラチオネート培地 「ダイゴ」

Fluid Tetrathionate Medium
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】393-02221 (300g)

概 要

本品は、サルモネラ選択増菌用培地であり、チオ硫酸塩とテトラチオン酸塩の作用により大腸菌群を抑制するが、サルモネラはテトラチオン酸塩を還元して発育することが可能であるため、他の大腸菌群の存在下であってもサルモネラを選択的に増菌することができる。

組 成（精製水1 L当たり）

カゼイン製ペプトン	2.5g
肉製ペプトン	2.5g
デソキシコール酸ナトリウム	1.0g
炭酸カルシウム	10.0g
チオ硫酸ナトリウム五水和物	30.0g

調 製 法

本品46gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち煮沸する。使用当日にヨウ素・ヨウ化カリウム溶液（ヨウ素6gとヨウ化カリウム5g／20mL）と滅菌ブリリアントグリーン溶液（1→1000）10mLを混和する。混和後は熱を加えてはならない。

用 途

- ・食品、医薬品の検査
- ・サルモネラの増菌

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004.
- 2) 石関忠一：医薬品研究4 (1),56,1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）.

腸内細菌検査用

サルモネラ分離用

ブリリアントグリーン寒天培地 「ダイゴ」

Brilliant Green Agar Medium
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】390-02231 (300g)

概 要

本品は、Kristensenらが1925年に考案し、Kauffmannが1935年に発表した組成に準拠し、チフス菌及びパラチフス菌を除くサルモネラの分離、確認を目的とした粉末培地であり、食品、医薬品などに利用できる。

組 成（精製水1 L当たり）

ペプトン（肉製及びカゼイン製）	10.0g
酵母エキス	3.0g
塩化ナトリウム	5.0g
乳糖一水和物	10.0g
白糖	10.0g
フェノールレッド	80mg
ブリリアントグリーン	12.5mg
カンテン	20.0g
滅菌後のpH	6.7 ~ 7.1

調 製 法

本品58gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、1分間煮沸する。使用直前に確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。約50℃に冷却後シャーレに分注する。

用 途

- ・食品、医薬品の検査
- ・サルモネラの分離

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004.
- 2) 石関忠一：医薬品研究4 (1),56,1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）.

腸内細菌検査用

サルモネラ分離用

**亜硫酸ビスマス寒天培地
「ダイゴ」****Bismuth Sulfite Agar
》DAIGO《**

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】397-02241（300g）**概 要**

本品は、サルモネラの分離、確認を目的とした粉末培地であり、食品、医薬品などに利用できる。

組 成（精製水 1 L 当たり）

肉エキス	5.0g
カゼイン製ペプトン	5.0g
肉製ペプトン	5.0g
ブドウ糖	5.0g
リン酸三ナトリウム十二水和物	4.0g
硫酸鉄（Ⅱ）七水和物	0.3g
亜硫酸ビスマス・インジケータ	8.0g
ブリアントグリーン	25mg
カンテン	20.0g
沸騰後のpH	7.4 ～ 7.8

調 製 法

本品52.3gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、煮沸溶解する。高圧蒸気滅菌をしてはならない。過剰な加熱は避けること。約50℃に冷却後シャーレに分注する。

用 途

- ・食品、医薬品の検査
- ・サルモネラの分離

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004.
- 2) 石関忠一：医薬品研究 4 (1), 56, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）.

腸内細菌検査用

サルモネラ分離用

**T S I 寒天培地
「ダイゴ」****Triple Sugar Iron Agar
》DAIGO《**

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】394-02251（300g）**概 要**

本品は、Hajna、（1945）によって考えだされた培地であり、腸内細菌のブドウ糖、乳糖及び白糖の分解性、ブドウ糖からのガス産生並びに硫化水素産生の検査を目的としている。

組 成（精製水 1 L 当たり）

カゼイン製ペプトン	10.0g
肉製ペプトン	10.0g
乳糖一水和物	10.0g
白糖	10.0g
ブドウ糖	1.0g
硫酸アンモニウム鉄（Ⅱ）六水和物	0.2g
塩化ナトリウム	5.0g
チオ硫酸ナトリウム五水和物	0.2g
フェノールレッド	25mg
カンテン	13.0g
滅菌後のpH	7.1 ～ 7.5

調 製 法

本品59.4gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、煮沸溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。斜面カンテン培地として使用する。

用 途

- ・食品、医薬品の検査
- ・ブドウ糖、乳糖および白糖の発酵、ガス産生並びに硫化水素産生による腸内細菌の鑑別

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、2～10℃に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004.
- 2) 石関忠一：医薬品研究 4 (1), 56, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）.

大腸菌（群）検査用

大腸菌群増菌・確認用

乳糖バイオン培地
「ダイゴ」Lactose Broth
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】397-00301（300g）

概 要

本品は、薬発第297号「内用液剤及びX線造影剤の菌数の限度及び試験法について」などに収載されている乳糖バイオン培地に準拠して調製した大腸菌群の増菌・確認を目的とする粉末培地であり、その他の菌の乳糖分解試験にも利用できる。

組 成（精製水1 L当たり）

肉エキス	3.0g
ペプトン	10.0g
乳糖	5.0g
ブロムチモールブルー	24mg
滅菌後のpH	7.0 ～ 7.4

調 製 法

本品18gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、使用目的に応じてダーラム管入試験管または発酵管に分注し、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌後すみやかに冷却する。

用 途

- ・医薬品、食品、水、その他の材料の検査
- ・大腸菌群の増菌・確認
- ・乳糖分解試験
- ・大腸菌群が本培地に発育するときは培地色調が黄色となり、ガスを産生する

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 厚生省薬務局長通知：薬発第297号，昭和51.4.1.
- 2) 石関忠一：医薬品研究4 (1),56, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）.
- 3) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004.
- 4) 日本水道協会：上水試験方法、2011.

大腸菌（群）検査用

大腸菌群増菌用

乳糖バイオン
「ダイゴ」日局16処方Fluid Lactose Medium
》DAIGO《 for JP16 Prescription

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】396-02191（300g）

概 要

本品は、日局16に収載されていた乳糖バイオンと同一組成の培地である。大腸菌群の増菌・確認を目的とする粉末培地である。

組 成（精製水1 L当たり）

肉エキス	3.0g
ゼラチン製ペプトン	5.0g
乳糖一水和物	5.0g
滅菌後のpH	6.7 ～ 7.1

調 製 法

本品13gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。滅菌後はできるだけ速やかに冷却する。

用 途

- ・医薬品、食品、水、その他の材料の検査
- ・大腸菌群の増菌・確認
- ・乳糖分解試験

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 厚生省薬務局長通知：薬発第297号，昭和51.4.1.
- 2) 石関忠一：医薬品研究4 (1),56, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）.
- 3) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004.
- 4) 日本水道協会：上水試験方法、2011.

大腸菌（群）検査用

大腸菌群分離用

デスオキシコレート寒天培地 「ダイゴ」

Desoxycholate Agar
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】395-00341（300g）

概 要

本品は、薬発第297号「内用液剤及びX線造影剤の菌数の限度及び試験法について」の別添、医薬品の微生物試験法に記載されているデスオキシコレート・カンテン培地に準拠して調製した大腸菌群分離を目的とする粉末培地であり、食品にも利用できる。

組 成（精製水1 L当たり）

ペプトン	10.0g
乳糖	10.0g
デソキシコール酸ナトリウム	1.0g
塩化ナトリウム	5.0g
リン酸水素ナトリウム	2.0g
クエン酸アンモニウム鉄（Ⅲ）	2.0g
ニュートラルレッド	33mg
カンテン	16.0g
溶解後のpH	7.0 ～ 7.4

調 製 法

本品46gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解する。
滅菌及び過熱を避け、培地調製後はその日のうちに使用する。

用 途

- ・医薬品、食品の検査
- ・大腸菌の分離
- ・大腸菌群は淡紅色の集落をつくり、その周辺にデソキシコール酸の析出を認める。プロテウスは遊走を抑制されて中心部が赤色の孤立集落をつくり、病原腸内細菌は無色透明の集落をつくる

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、2～10℃に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 厚生省薬務局長通知：薬発第297号，昭和51.4.1.
- 2) 石関忠一：医薬品研究 4 (1), 56, 1973.
医薬品・化粧品品の微生物汚染試験法（第2報）.
- 3) 日本水道協会：上水試験方法，2011.
- 4) E.Leifson: J.Path. & Bact., 40, 581, 1935.
New culture media based on sodium desoxycholate for the isolation of intestinal pathogens and for the enumeration of colon bacilli in milk and water.
- 5) D.J.Hentges: Am.J.Clin.Path., 38(3), 304, 1962.
A simplified plating technic for bacteriologic examination of specimens of urine.
- 6) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編，2004.

大腸菌（群）検査用

大腸菌群検査用

B G L B培地 「ダイゴ」

Brilliant Green-Lactose-Bile Broth
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】398-00451（300g）

概 要

本品は、日本食品衛生協会・食品衛生検査指針に記載されているBGLB培地に準拠した乳、乳製品、各種食品及び飲料水などの大腸菌群検査、またMPN法による大腸菌群数測定を目的とする粉末培地である。

組 成（精製水1 L当たり）

ペプトン	10.0g
乳糖	10.0g
牛胆汁末	20.0g
ブリリアントグリーン	13.3mg
滅菌後のpH	7.0 ～ 7.4

調 製 法

本品40gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、使用目的に応じてターラム管入試験管または発酵管に分注し、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。

用 途

- ・乳、乳製品、各種食品及び飲料水などの大腸菌群検査、またMPN法による大腸菌群数測定

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編，2004.
- 2) 日本水道協会：上水試験方法，2011.

大腸菌（群）検査用

大腸菌検査用

E C培地「ダイゴ」Escherichia Coli Broth
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】392-00471（300g）

概 要

本品は、大腸菌群中の大腸菌（E.coli）の選択培養を目的とする粉末培地で、水や食品などに利用できる。

組 成（精製水 1 L 当たり）

ペプトン	20.0g
乳糖一水和物	5.0g
牛胆汁末	1.5g
リン酸水素ナトリウム	4.0g
リン酸二水素ナトリウム	1.5g
塩化ナトリウム	5.0g
滅菌後のpH	6.7 ～ 7.1

調 製 法

本品37gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、ダーラム管入試験管または発酵管に約10mL分注し、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。

用 途

- ・水や食品などの検査
- ・大腸菌群中の大腸菌（E.coli）の選択培養
- ・大腸菌はガス産生を認める

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) A.A.Hajna et al:Am.J.Pub.Health.,33,550,1943.
Comparative study of presumptive and confirmative media for bacteria of the coliform group and for fecal streptococci.
- 2) 生物学的製剤基準：一般試験法・培地、2004
- 3) 日本水道協会：上水試験方法、2011.
- 4) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004.
- 5) A.D.Tennant et al:Can.J.Microbiol.,7, 733,1961.
Coliform bacteria in sea water and shellfish.
Ⅱ. The E.C.Confirmation test for escherichia coli.

大腸菌（群）検査用

大腸菌群分離用

E M B寒天培地「ダイゴ」Eosin-Methylene Blue Agar Medium
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】399-02201（300g）

概 要

本品は、日局16に記載されていたE M B寒天培地と同一組成の培地である。大腸菌群の分離・確認を目的とする粉末培地である。

組 成（精製水 1 L 当たり）

ゼラチン製ペプトン	10.0g
リン酸水素ナトリウム	2.0g
乳糖一水和物	10.0g
カンテン	15.0g
エオシンY	0.40g
メチレンブルー	65mg
滅菌後のpH	6.9 ～ 7.3

調 製 法

本品37.5gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

用 途

- ・医薬品、食品、水、その他の材料の検査
- ・大腸菌群の分離・確認

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004.
- 2) 石関忠一：医薬品研究4(1),56,1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）.

食品中の生菌数測定用

生菌数測定用

真菌検査用

生菌数測定用（真菌）

標準寒天培地「ダイゴ」Standard Methods Agar
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】393-00381（300g）

概 要

本品は、日本食品衛生協会・食品衛生検査指針、日本薬学会編・衛生試験法注解等に収載されている標準寒天培地に準拠して調製したもので、各種食品とその原料及び飲料水などの生菌数測定を目的とする粉末培地である。

組 成（精製水1 L当たり）

カゼイン製ペプトン	5.0g
酵母エキス	2.5g
ブドウ糖	1.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	6.9 ～7.1

調 製 法

本品23.5gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、適当な容器に分注後、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。

用 途

・各種食品と、その原料及び飲料水などの生菌数測定

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004。
- 2) 日本薬学会編：衛生試験法注解、2005
- 3) 第十八改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店（2021）。
- 4) 日本水道協会：上水試験方法、2011。

G P 寒天培地「ダイゴ」Glucose-Peptone Agar Medium
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】399-02181（300g）

概 要

本品は、日局16に収載されていたGP寒天培地と同一の培地である。医薬品、食品中の一般生菌数（真菌）を測定する目的に使用できる。

組 成（精製水1 L当たり）

ブドウ糖	20.0g
酵母エキス	2.0g
硫酸マグネシウム七水和物	0.5g
ペプトン	5.0g
リン酸二水素カリウム	1.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	5.6 ～ 5.8

調 製 法

本品43.3gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。抗生物質添加GPカンテン培地として使用する場合は、使用直前にベンジルペニシリンカリウム0.10gとテトラサイクリン0.10gを滅菌溶液として加える。ベンジルペニシリンカリウムとテトラサイクリンの代わりに培地1 L 当たりクロラムフェニコール50mgを加えてもよい。

用 途

・医薬品、化粧品などの一般生菌数試験（真菌）

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、2～10℃に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004。
- 2) 石関忠一：医薬品研究 4 (1),56,1973。
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第2報）。

真菌検査用

医薬品・化粧品検査

防腐剤不活化 生菌数測定用（真菌）

G P L P 寒天培地「ダイゴ」

Glucose Peptone Agar with
Lecithin & Polysorbate 80 》DAIGO 》

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】394-00235（500g）

概 要

本品は、GP寒天培地にレシチン、ポリソルベート80を加えた培地で、医薬品および化粧品中に添加された防腐剤を不活化することによって汚染微生物の増殖を可能にするもので、防腐剤（Quaternary ammonium compounds, Chlorhexidine, Hexachlorophene, Phenolic compounds, Derivatives of benzoic acid, Organometallic tin compounds, その他）を含有する製剤中の真菌を検出する目的に使用できる。

組 成（精製水1 L当たり）

ブドウ糖	20.0g
酵母エキス	2.0g
硫酸マグネシウム七水和物	0.5g
カゼイン製ペプトン	5.0g
リン酸二水素カリウム	1.0g
レシチン	1.0g
ポリソルベート80	7.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	5.6 ～ 5.8

調 製 法

本品51.3gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、90℃以上に加熱し、数分間攪拌して溶解し、容器に分注後、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。滅菌後、直ちに注意しながらよく振り混ぜ、容器底に沈澱しているポリソルベート層を均一化する。

用 途

- ・ 医薬品、化粧品などの防腐剤を含有する製剤中の一般生菌数（真菌）試験

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、2～10℃に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 石関忠一：医薬品研究4(2), 175, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第3報）。
- 2) 石関忠一：日本化粧品技術者連合会誌7(1), 1, 1971.
化粧品の微生物汚染とその検査法について。
- 3) 岩原繁雄：医薬品研究3(4), 444, 1972.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第1報）。
- 4) 石関忠一他：衛生試験所報告第91号, 1973.
防腐剤に関する研究、とくにポリソルベート80及びレシチンによる不活化作用について。

真菌検査用

医薬品・化粧品検査

防腐剤不活化 生菌数測定用（真菌）

G P L P 培地「ダイゴ」

Glucose Peptone Broth with
Lecithin & Polysorbate 80 》DAIGO 》

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】391-00245（500g）

概 要

本品は、GP培地にレシチン及びポリソルベート80を加えた培地で、化粧品中に添加された防腐剤を不活化することによって汚染微生物の増殖を可能にするもので、防腐剤（Quaternary ammonium compounds, Chlorhexidine, Hexachlorophene, Phenolic compounds, Derivatives of benzoic acid, Organometallic tin compounds, その他）を含有する製剤中の一般生菌数（真菌）を測定する目的に使用できる。

組 成（精製水1 L当たり）

ブドウ糖	20.0g
酵母エキス	2.0g
硫酸マグネシウム七水和物	0.5g
カゼイン製ペプトン	5.0g
リン酸二水素カリウム	1.0g
レシチン	1.0g
ポリソルベート80	7.0g
滅菌後のpH	5.6 ～ 5.8

調 製 法

本品36.3gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、90℃以上に加熱し、数分間攪拌して溶解し、容器に分注後、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。滅菌後、直ちに注意しながら振り混ぜ、容器底に沈澱しているポリソルベート層を均一化する。

用 途

- ・ 医薬品、化粧品などの防腐剤を含有する製剤中の一般生菌数（真菌）試験
- ・ 真菌の増菌用

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、2～10℃に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 石関忠一：医薬品研究4(2), 175, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第3報）。
- 2) 石関忠一：日本化粧品技術者連合会誌7(1), 1, 1971.
化粧品の微生物汚染とその検査法について。
- 3) 岩原繁雄：医薬品研究3(4), 444, 1972.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第1報）。
- 4) 石関忠一他：衛生試験所報告第91号, 1973.
防腐剤に関する研究、とくにポリソルベート80及びレシチンによる不活化作用について。

真菌検査用

医薬品・化粧品検査

防腐剤不活化 生菌数測定用（真菌）

サブロー・ブドウ糖LPカンテン培地
「ダイゴ」Sabouraud-Dextrose Agar with
Lecithin & Polysorbate 80 》DAIGO 》

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】392-01875（500g）

概 要

本品は、日本薬局方の一般試験法に記載されているサブロー・ブドウ糖カンテン培地にレシチン及びポリソルベート80を加えた培地で、医薬品及び化粧品中に添加された防腐剤を不活化することによって汚染微生物の増殖を可能にするもので、防腐剤（Quaternary ammonium compounds, Chlorhexidine, Hexachlorophene, Phenolic compounds, Derivatives of benzoic acid, Organometallic tin compounds, その他）を含有する製剤中の真菌を検出する目的に使用できる。

組 成（精製水1L当たり）

ブドウ糖	40.0g
ペプトン（肉製及びカゼイン製 1:1）	10.0g
レシチン	1.0g
ポリソルベート80	7.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	5.4 ～ 5.8

調 製 法

本品73.0gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、90℃以上に加熱し、数分間攪拌して溶解し、容器に分注後、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。滅菌後、直ちに注意しながらよく振り混ぜ、容器底に沈澱しているポリソルベート層を均一化する。

用 途

・医薬品、化粧品などの防腐剤を含有する製剤中の一般生菌数（真菌）試験

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、2～10℃に保存すること。

参 考 文 献

1) 日本薬局方：一般試験法・微生物限度試験法。

真菌検査用

医薬品・化粧品検査

防腐剤不活化 生菌数測定用（真菌）

サブロー・ブドウ糖LP液体培地
「ダイゴ」Sabouraud-Dextrose Broth with
Lecithin & Polysorbate 80 》DAIGO 》

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】399-01885（500g）

概 要

本品は、日本薬局方の一般試験法に記載されているサブロー・ブドウ糖液体培地にレシチン及びポリソルベート80を加えた培地で、医薬品及び化粧品中に添加された防腐剤を不活化することによって汚染微生物の増殖を可能にするもので、防腐剤（Quaternary ammonium compound, Chlorhexidine, Hexachlorophene, Phenolic compounds, Derivatives of benzoic acid, Organometallic tin compounds, その他）を含有する製剤中の一般生菌数（真菌）を測定する目的に使用できる。

組 成（精製水1L当たり）

ブドウ糖	20.0g
ペプトン（肉製及びカゼイン製 1:1）	10.0g
レシチン	1.0g
ポリソルベート80	7.0g
滅菌後のpH	5.4 ～ 5.8

調 製 法

本品38.0gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、90℃以上に加熱し、数分間攪拌して溶解し、容器に分注後、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。滅菌後、直ちに注意しながら振り混ぜ、容器底に沈澱しているポリソルベート層を均一化する。

用 途

・医薬品、化粧品などの防腐剤を含有する製剤中の一般生菌数（真菌）試験
・真菌の増菌用

使用期限

製造後 3年

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、2～10℃に保存すること。

参 考 文 献

1) 日本薬局方：一般試験法・微生物限度試験法。

従属栄養細菌検査用

水棲細菌等

R2A寒天培地「ダイゴ」

R2A Agar 》DAIGO 》

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】396-01611（300g）

概 要

本培地は、上水道試験法に収載されている貧栄養な水環境に生息する微生物の検出培地である。水環境にあわせ、有機栄養分を抑えた組成となっており、高栄養培地で回収できない従属栄養細菌の生菌数測定が可能です。

組 成（精製水1 L 当たり）

ペプトン	0.5g
酵母エキス	0.5g
カザミノ酸	0.5g
ブドウ糖	0.5g
溶性デンプン	0.5g
リン酸水素ナトリウム	0.3g
硫酸マグネシウム七水和物	0.05g
ビルビン酸ナトリウム	0.3g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	7.0 ～ 7.4

調 製 法

本品18.2gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。

用 途

・水棲細菌等の従属栄養細菌の生菌数測定

試 験 菌 株

Methylobacterium extoquens NBRC 15911

Pseudomonas fluorescens NBRC 15842

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 第十八改正日本薬局方 参考情報 製薬用水の品質管理 2021.
- 2) 佐々木次雄他：医薬品研究 Vol.35,No.12
製薬用水中の微生物評価培地R2A培地に関する研究.
- 3) 田中憲志：Bokin Boubai Vol.33,No.11
R2A培地の培地性能試験と水棲細菌数測定への適用.
- 4) 日本水道協会：上水試験方法、2011.

従属栄養細菌検査用

水棲細菌等

R2A培地「ダイゴ」

R2A Broth 》DAIGO 》

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】395-01681（300g）

概 要

本品は、R2A寒天培地から寒天を除いた培地で、最確数法により製造用水の日常微生物モニタリングが簡便にできます。

組 成（精製水1 L 当たり）

ペプトン	0.5g
酵母エキス	0.5g
カザミノ酸	0.5g
ブドウ糖	0.5g
溶性デンプン	0.5g
リン酸水素ナトリウム	0.3g
硫酸マグネシウム七水和物	0.05g
ビルビン酸ナトリウム	0.3g
滅菌後のpH	7.0 ～ 7.4

調 製 法

本品3.2gを精製水1Lに加えよく振り混ぜたのち、適当な容器に分注後、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。

用 途

・水棲細菌等の従属栄養細菌の生菌数測定

試 験 菌 株

Methylobacterium extoquens NBRC 15911

Pseudomonas fluorescens NBRC 15842

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 田中憲志：Bokin Boubai Vol.33,No.11
R2A培地の培地性能試験と水棲細菌数測定への適用.

その他検査用

カピサイジン配合

標準菌株の復元、維持培養用

NBRC処方

抗黴培地「ダイゴ」

Anti Fungus Culture Medium
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】390-00151（50g）

概 要

抗黴用抗生物質カピサイジン（特許第247306号）を用いて製造した本培地は、黴、酵母等の真菌類のみに選択的に繁殖を抑制し、細菌類は繁殖する。したがって、黴、酵母等と共存している細菌類の生態を知ることができ、有害細菌のある場合にはすみやかに対策をたてることのできる。黴、酵母等使用する工業等に効果的に利用できる。また自然界から細菌類を分別、分離する研究用としても好適である。

組 成（精製水1 L当たり）

カピサイジン	0.1gカ価
酵母エキス	5.0g
カゼイン製ペプトン	5.0g
ブドウ糖	24.0g
カンテン	15.0g
リン酸二水素カリウム	0.5g
塩化カリウム	0.125g
塩化ナトリウム	0.125g
塩化カルシウム	0.125g
硫酸マグネシウム	0.125g
硫酸第一鉄	1mg
硫酸マンガン	1mg
滅菌後のpH	5.5 ～ 5.9

調 製 法

本品50gを1Lの精製水に溶解し、121℃で10分間または100℃で20分間ずつ3回間けつ滅菌したのち、40～50℃に冷却し、検体を適度に希釈した液を加えて平板培養を行う。なお、生酸菌の場合は、適宜炭酸カルシウムを添加する。

注 意 事 項

- ・滅菌温度が高すぎたり、または長時間加熱するとカピサイジン（抗生物質）が分解する
- ・本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、冷暗所に保存すること

参 考 文 献

- 1) 特許第247306号。
- 2) 奈良原英樹他：日本醸造協会雑誌64(10),915,1969。
清酒こうじに関する研究（第1報）、清酒こうじの酵素と微生物。

L-乾燥標品復元用培地「ダイゴ」

Media for revival of L-dried specimens
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】398-01671（1セット）

概 要

本品は、標準菌株を購入した際、L-乾燥標品の復元に必要な培地をセットにしたものである。NBRC^{（注1）}の処方にに基づき少量をバックにしているの
で使いやすく、培地調製の手間を省きます。

（注1）独立行政法人 製品評価技術基盤機構
バイオテクノロジーセンター

セ ャ ッ ト 内 容

- ・復水液702「ダイゴ」（2mLアンプル）
- ・復水液702「ダイゴ」（100mL用粉末）
- ・復元培養基802「ダイゴ」（300mL用粉末）

組 成（精製水1 L当たり）

復水液702	
ペプトン	10.0g
酵母エキス	2.0g
硫酸マグネシウム七水和物	1.0g
滅菌後のpH	6.8 ～ 7.2
復元培養基802	
ペプトン	10.0g
酵母エキス	2.0g
硫酸マグネシウム七水和物	1.0g
カンテン	15.0g
滅菌後のpH	6.8 ～ 7.2

調 製 法

復水液702「ダイゴ」（2mLアンプル）

本品を75%アルコールで消毒した後、注意深く開封する^{（注2）}。滅菌したパスツールピペットを用いて約0.2mLを採取し、開封したL-乾燥標品に加える。

（注2）一点カットアンプルを使用しているので、ヤスリを用いずアンプル枝部の青マークの反対方向に折り取ること。

復水液702「ダイゴ」（100mL用粉末）

本品1.3g（1袋）を精製水100mLに加えてよく振り混ぜる。加温溶解後、容器に分注し、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。

復元培養基802「ダイゴ」（300mL用粉末）

本品8.4g（1袋）を精製水300mLに加えてよく振り混ぜる。加温溶解後、121℃で15～20分間高圧蒸気滅菌する。

注 意 事 項

粉末培地は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

カゼインペプトン 【日本薬局方試験 準拠品】
微生物培養基用

カゼインペプトン
微生物培養基用

ハイポリペプトン「塩谷」

HIPOLYPEPTON
》SHIOTANI 《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】393-02265 (500g)
399-02267 (15kg)

製品特長（従来品比較）

- ・日本薬局方試験に準拠した製品
- ・ハイポリペプトンと比較し溶解性に優れている
- ・日本国内製造
- ・安定供給

概要

ハイポリペプトン「塩谷」は、牛乳カゼイン（ニュージーランド産：BSE非発生国）を酵素分解後、精製し、乾燥したペプトンで、日本薬局方試験に準拠した製品である。安定供給の観点から日本国内で製造している。水に溶けやすく、エタノールまたはエーテルに溶けない。

規格値

総窒素	11%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	5～7%
強熱残分	10%以下
乾燥減量	6%以下

用途

- ・日本薬局方及び生物学的製剤基準に収載されている無菌試験用培地の窒素源として最適である。また、衛生試験法における飲料水及び食品衛生検査指針中の微生物試験用培地に使用可能。
- ・トリプトファンを多量に含有しているため、インドール産生試験に使用すると良好な結果が得られる。
- ・カゼイン酵素分解ペプトンを必要とするDubos & Middlebrook の結核菌培養、その他各種微生物培養の培地に利用可能。

注意事項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせ固く密栓又は密閉すること。室温保存。

参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版）。培地素材 P115,1986. 近代出版。
- 2) 生物学的製剤基準：一般試験法、2004
- 3) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004。
- 4) 水野伝一他：薬局10(8),921,1959。
ペプトン・肉エキス・寒天。
- 5) 水野伝一他：日本細菌学雑誌15(1),114,1960。
培地素材成分の諸問題。
- 6) R.J.Dubos et al:Am.Rev.Tuber.,56, 334, 1947。
Media for tubercle bacilli.
- 7) 外村健三他：日本醗酵協会誌21(4),129,1963。
麹菌の菌体内α-Amylase について。
（Ⅱ）燐ペプチッドによるα-アミラーゼの離脱促進作用。
- 8) 山本昭夫他：日本細菌学雑誌24(8), 359,1969。
破傷風トキソイドの副作用に関する研究（Ⅰ）
培地基材の毒素産生促進効果と感作原性。

ハイポリペプトン

HIPOLYPEPTON

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】390-02116 (500g)

概要

ハイポリペプトンは、牛乳カゼイン（ニュージーランド産：BSE非発生国）を酵素分解後、精製し、乾燥した製品である。水に溶けやすく、エタノールまたはエーテルに溶けない。

規格値

総窒素	11%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	5～7%
強熱残分	10%以下
乾燥減量	6%以下

用途

- ・日本薬局方及び生物学的製剤基準に収載されている無菌試験用培地の窒素源として最適である。また、衛生試験法における飲料水及び食品衛生検査指針中の微生物試験用培地に使用可能。
- ・トリプトファンを多量に含有しているため、インドール産生試験に使用すると良好な結果が得られる。
- ・カゼイン酵素分解ペプトンを必要とするDubos & Middlebrook の結核菌培養、その他各種微生物培養の培地に利用可能。

注意事項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせ固く密栓又は密閉すること。室温保存。

参考文献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版）。培地素材 P115,1986. 近代出版。
- 2) 生物学的製剤基準：一般試験法、2004
- 3) 日本食品衛生協会：食品衛生検査指針、微生物編、2004。
- 4) 水野伝一他：薬局10(8),921,1959。
ペプトン・肉エキス・寒天。
- 5) 水野伝一他：日本細菌学雑誌15(1),114,1960。
培地素材成分の諸問題。
- 6) R.J.Dubos et al:Am.Rev.Tuber.,56, 334, 1947。
Media for tubercle bacilli.
- 7) 外村健三他：日本醗酵協会誌21(4),129,1963。
麹菌の菌体内α-Amylase について。
（Ⅱ）燐ペプチッドによるα-アミラーゼの離脱促進作用。
- 8) 山本昭夫他：日本細菌学雑誌24(8), 359,1969。
破傷風トキソイドの副作用に関する研究（Ⅰ）
培地基材の毒素産生促進効果と感作原性。

大豆ペプトン

微生物培養基用

大豆ペプトン【ハラル・コーシャ認定工場製造】

微生物培養基用

ハイポリペプトンS

HIPOLYPEPTON S

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】398-02173 (300g)
398-02178 (10kg)

概 要

本品は、植物性ペプトンで、脱脂大豆を酵素分解後精製し、乾燥した粉末で、水に溶けやすく、エタノールまたはエーテルに溶けない。

規 格 値

総窒素	7%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	3～5%
強熱残分	23%以下
乾燥減量	6%以下

用 途

- ・ハイポリペプトン「塩谷」及びハイポリペプトンの性能を補足するとき
に用いる。
- ・微生物の培養に広く利用され、医真菌、植物病原真菌、サルモネラ、
ナイセリア、クロストリジウム等の発育困難な菌の培養に適している。

注 意 事 項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせ固く密栓又は密閉すること。
室温保存。

参 考 文 献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版），
培地素材 P115,1986. 近代出版。

ハイポリペプトンN

HIPOLYPEPTON N

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】397-02121 (300g)
395-02127 (10kg)

概 要

本品は、植物性ペプトンで、大豆精製物を微生物由来酵素で分解後精製し、
乾燥した粉末で、性能はハイポリペプトン「塩谷」及びハイポリペプトン
と同等である。

※ ハラル・コーシャ認定対応製品は10kgのみ

規 格 値

総窒素	12%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	5～7%
強熱残分	15%以下
乾燥減量	6%以下

用 途

非動物性ペプトンで用途はハイポリペプトン「塩谷」及びハイポリペプト
ンと同様である。

注 意 事 項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせ固く密栓又は密閉すること。
室温保存。

大豆ペプトン【ハラル・コーシャ認定工場製造】
微生物培養基用

ペプトン（酸分解物）

微生物培養基用

ハイポリペプトンNS

HIPOLYPEPTON NS

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】393-02101 (300g)
391-02107 (10kg)

概 要

本品は、植物性ペプトンで、脱脂大豆を微生物由来酵素で分解後精製し、乾燥した粉末で、性能はハイポリペプトンSと同等である。

※ ハラル・コーシャ認定対応製品は20kg特注品のみ

規 格 値

総窒素	7%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	3～5%
強熱残分	23%以下
乾燥減量	9%以下

用 途

非動物性ペプトンで用途はハイポリペプトンSと同様である。

注 意 事 項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせ固く密栓又は密閉すること。
室温保存。

ハイカザミノ酸「ダイゴ」

HICASAMINO ACIDS
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】393-02145 (500g)
399-02147 (10kg)

概 要

本品は牛乳カゼインの酸分解物でたん白質はほとんどアミノ酸にまで分解されており、たん白質以外の栄養源または発育因子はほとんど含まない。そのため細菌生理学、同遺伝学などの基礎的分野に使用する培地の純窒素源として、あるいはビタミン（とくにB12）の定量用培地における窒素源として用いられ、またミューラ・ヒントン培地のように酵素消化ペプトンの使用が好ましくない培地への栄養源として利用されている。

規 格 値

総窒素	7%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	54～83%
強熱残分	52%以下
乾燥減量	8%以下
塩化物（NaCl）	28～40%
pH	6～7

注 意 事 項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせ固く密栓又は密閉すること。
室温保存。

参 考 文 献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版），
培地素材 P115,1986. 近代出版。

酵母エキス

微生物培養基用

酵母エキス

微生物培養基用

粉末酵母エキスD-3H

DRIED YEAST EXTRACT D-3H

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】398-02151 (250g)
396-02157 (10kg)

概 要

本品は、酵母の水溶性成分を独自の自己消化法により抽出し、乾燥した淡褐色の粉末で、ビタミン群、各種ミネラル類等を含有している。

規 格 値

総窒素	10%以上
アミノ酸窒素（バンスライク法）	5%以上
強熱残分	15%以下
乾燥減量	8%以下

用 途

- ・無菌試験用チオグリコール酸培地に発育要素として使用する。
- ・Bioassayに用いる乳酸菌類の培養に適している。
- ・牛乳製品あるいは食品の微生物検査用培地に使用する。
- ・抗生物質発酵等の培養基材に適している。

注 意 事 項

本品は吸湿性があるので、包装形態に合わせ固く密栓又は密閉すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版），
培地素材 P115,1986. 近代出版。

粉末酵母エキスFH

DRIED YEAST EXTRACT FH

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】393-02167 (10kg)

概 要

本品は、酵母の水溶性成分を独自の自己消化法により抽出し、乾燥した淡褐色の粉末で、ビタミン群、各種ミネラル類等を含有している。

規 格 値

総窒素	10%以上
強熱残分	15%以下
乾燥減量	6%以下
pH	5～6

用 途

- ・無菌試験用チオグリコール酸培地に発育要素として使用する。
- ・Bioassayに用いる乳酸菌類の培養に適している。
- ・牛乳製品あるいは食品の微生物検査用培地に使用する。
- ・抗生物質発酵等の培養基材に適している。

注 意 事 項

本品は吸湿性があるので、固く密閉すること。室温保存。

植物培養用

ムラシゲ・スクーグ培地用

植物培養用

ガンボーク B 5 培地用

ムラシゲ・スクーグ培地用混合塩類

Murashige and Skoog Plant Salt Mixture

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 392-00591 (1L用×20)
396-02037 (10L用×5)

概 要

本剤は、植物の組織培養用培地として広く用いられているMurashige and Skoog 培地（1962年）処方のうち、基本となる無機塩類をあらかじめ適正に混合した粉末培地である。

本剤に蒸留水を加えるだけでムラシゲ・スクーグ培地用の無機塩類貯蔵液が簡単に調製できるので、培養目的に応じて、糖、アミノ酸、ビタミン類、成長調整物質等とともに植物の組織培養に用いることができる。

組 成 ・ 成 分（本品1L用 [4.6g] 当たり）

（単位：mg/L）

NH ₄ NO ₃	1,650.0	ZnSO ₄ ・7H ₂ O	8.6
KNO ₃	1,900.0	KI	0.83
CaCl ₂ ・2H ₂ O	440.0	Na ₂ MoO ₄ ・2H ₂ O	0.25
MgSO ₄ ・7H ₂ O	370.0	CuSO ₄ ・5H ₂ O	0.025
KH ₂ PO ₄	170.0	CoCl ₂ ・6H ₂ O	0.025
H ₃ BO ₃	6.2	Na ₂ -EDTA	37.3
MnSO ₄ ・4H ₂ O	22.3	FeSO ₄ ・7H ₂ O	27.8

調 製 法

1L用

本品1袋（4.6g）を蒸留水に加え溶解し、必要に応じて成長調整物質やビタミン等を加えたのち、1L溶液とし、高圧蒸気滅菌（120℃、15分）して用いる。

10L用

本品1袋（46g）を蒸留水に加え溶解し、必要に応じて成長調整物質やビタミン等を加えたのち、10L溶液とし、高圧蒸気滅菌（120℃、15分）して用いる。

注 意 事 項

室温保存。溶解後は冷蔵保存。

溶解液にはFeイオンの入った水は使用しないこと。

参 考 文 献

- 1) T.Murashige et al:Physiol.Plant.,15,473,1962.
A revised medium for rapid growth and bio assays with tobacco tissue cultures.

ガンボーク B 5 培地用混合塩類

Gamborg's B5 Medium Salt Mixture

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 399-00621 (1L用×20)

概 要

本剤は、植物の組織培養用培地として広く用いられているGamborg's B5 培地（1968年）処方のうち、基本となる無機塩類をあらかじめ適正に混合した粉末培地である。

本剤に蒸留水を加えるだけでガンボークB5培地用の無機塩類貯蔵液が簡単に調製できるので、培養目的に応じて、糖、アミノ酸、ビタミン類、成長調整物質等とともに植物の組織培養に用いることができる。

組 成 ・ 成 分（本品1L用 [3.3g] 当たり）

（単位：mg/L）

KNO ₃	2,500.0	MnSO ₄ ・H ₂ O	10.0
MgSO ₄ ・7H ₂ O	250.0	H ₃ BO ₃	3.0
NaH ₂ PO ₄ ・H ₂ O	150.0	ZnSO ₄ ・7H ₂ O	2.0
CaCl ₂ ・2H ₂ O	150.0	KI	0.75
(NH ₄) ₂ SO ₄	134.0	Na ₂ MoO ₄ ・2H ₂ O	0.25
Na ₂ -EDTA	37.3	CuSO ₄ ・5H ₂ O	0.025
FeSO ₄ ・7H ₂ O	27.8	CoCl ₂ ・6H ₂ O	0.025

調 製 法

本品1袋（3.3g）を蒸留水に加え溶解し、必要に応じて成長調整物質やビタミン等を加えたのち、1L溶液とし、高圧蒸気滅菌（120℃、15分）して用いる。

注 意 事 項

室温保存。溶解後は冷蔵保存。

参 考 文 献

- 1) O.L.Gamborg et al:Experimental Cell Research 50,151~158(1968)
Nutrient requirements of suspension cultures of soybean root cells.

植物培養用

チュー（N6）培地用

微細藻類培養用

海産微細藻類培養用

チュー（N6）培地用混合塩類

Chu (N6) Medium Salt Mixture

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 391-02021 (1L用×20)
399-02027 (10L用×5)

概要

本剤はChu,C.C.らによって考案された、主としてイネの約培養培地として用いられるN6培地処方のうち、基本となる無機塩類を混合した粉末培地である。

本剤に蒸留水を加えるだけでN6培地の無機塩類貯蔵液が簡単に調製できるので、培養目的に応じて、糖、アミノ酸、ビタミン類、成長調整物質等とともに植物の組織培養に用いることができる。

組成・成分（本品1L用 [4.1g] 当たり）

(単位: mg/L)

KNO ₃	2,830.0	FeSO ₄ ・7H ₂ O	27.85
(NH ₄) ₂ SO ₄	463.0	MnSO ₄ ・4H ₂ O	4.4
KH ₂ PO ₄	400.0	H ₃ BO ₃	1.6
MgSO ₄ ・7H ₂ O	185.0	ZnSO ₄ ・7H ₂ O	1.5
CaCl ₂ ・2H ₂ O	166.0	KI	0.8
Na ₂ -EDTA	37.25		

調製法

1L用

本品1袋（4.1g）を蒸留水に加え溶解し、必要に応じて成長調整物質やビタミン等を加えたのち、1L溶液とし、高圧蒸気滅菌（120℃、15分）して用いる。

10L用

本品1袋（41g）を蒸留水に加え溶解し、必要に応じて成長調整物質やビタミン等を加えたのち、10L溶液とし、高圧蒸気滅菌（120℃、15分）して用いる。

注意事項

室温保存。溶解後は冷蔵保存。
溶解液にはFeイオンの入った水は使用しないこと。

参考文献

- 1) Chu,C.C., et al:Scientia Sin.18,659~668(1975)
Establishment of an efficient medium for anther culture of rice, through comparative experiments on the nitrogen sources.

ダイゴIMK培地

Daigo's IMK Medium for Marine Microalgae

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】 398-01333 (100L用×10)
392-01331 (1,000L用)

概要

本培地は、多大な微細藻類をできるだけ多く確実に効率よく培養可能とする培地を簡単に調製できるよう、「株式会社 海洋バイオテクノロジー研究所」が開発した海産微細藻類用の培地です。

海水に溶かすだけで、培地の調製が可能のように、全ての要素物質が混合されています。

環境中の微細藻類の分離から大量培養（注）まで広範に利用可能で、海産微細藻類培養、生理学的研究、水産業における種苗生産用の飼料藻類の培養等に便利な培地として設計されています。

（注）珪藻類の高密度培養には、別途珪酸ナトリウム（0.2~1mM）を添加してください。

組成・成分

(単位: mg/L)

NaNO ₃	200.0	CoSO ₄ ・7H ₂ O	0.014
Na ₂ HPO ₄	1.4	Na ₂ MoO ₄ ・2H ₂ O	0.0073
K ₂ HPO ₄	5.0	CuSO ₄ ・5H ₂ O	0.0025
NH ₄ Cl	2.68	H ₂ SeO ₃	0.0017
Fe-EDTA	5.2	Thiamin-HCl	0.2
Mn-EDTA	0.332	Biotin	0.0015
Na ₂ -EDTA	37.2	Vitamin B ₁₂	0.0015
ZnSO ₄ ・7H ₂ O	0.023	MnCl ₂ ・4H ₂ O	0.18

調製法

海水100L（1,000L）に本品25.2g（252g）を攪拌しながら加え溶解する。

※ pH調整を必要とする場合は、塩酸又は水酸化ナトリウムを用いる。

pHがアルカリ側に傾くと白色沈澱を生ずることがある。

※ ダイゴIMK培地を用いて大量培養や高密度培養を行う場合は、1Lに対する粉末添加量を増やすことが可能である。

※ IMK培地を人工海水SPに溶解するとき、必ず人工海水SPを溶解した後にIMK培地を溶解してください。

1) 滅菌について

・滅菌をしていない培地は、培地調製中に海水または空中の微細藻類が混入し、冷暗所においても微細藻類が発生することがある。

・ダイゴIMK培地には、ビタミン類が調合されているので、培地を

滅菌する際には、培養対象のビタミン要求性を考慮して、メンブランフィルターを用いてろ過滅菌する。滅菌後は4℃で保管し、できるだけ早く使用すること。

2) カンテン培地の調製法

ダイゴ人工海水SP（海水）800mLにダイゴIMK培地252mgを加え溶解し、滅菌後培地を50℃程度に保つ。別に、蒸留水200mLにカンテン15gを加え121℃で15分間高圧蒸気滅菌し、攪拌の後、室温で放置して50℃程度になったら、先に滅菌した培地とよく混合しシャーレに分注する。固化後、冷暗所に保管する。

注意事項

※ 本品は『医薬用外毒物』です

本品は吸湿性が強いので開封後は密閉して保管すること。室温保存。

微細藻類培養用

海産微細藻類培養用

ダイゴ人工海水 S P

Daigo's Artificial Seawater SP
for Marine Microalgae Medium

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】395-01343（1L用×10）

概 要

生理学的な実験ならびに微細藻類の維持管理に用いる天然海水は、採取後3ヶ月程度冷暗所で保管したものをを用いると安定した結果が得られます。天然海水の代わりにダイゴ人工海水SPを用いても、同様の結果が得られます。本品は、精製水に溶かすだけで組成の明らかな人工海水が出来上がります。

組 成 ・ 成 分

(単位：mg/L)

MgCl ₂ ・6H ₂ O	9,474.0	LiCl	1.0
CaCl ₂ ・2H ₂ O	1,326.0	KI	0.07
Na ₂ SO ₄	3,505.0	CoCl ₂ ・6H ₂ O	0.0002
KCl	597.0	AlCl ₃ ・6H ₂ O	0.008
NaHCO ₃	171.0	FeCl ₃ ・6H ₂ O	0.005
KBr	85.0	Na ₂ WO ₄ ・2H ₂ O	0.0002
Na ₂ B ₄ O ₇ ・10H ₂ O	34.0	(NH ₄) ₆ Mo ₇ O ₂₄ ・4H ₂ O	0.02
SrCl ₂	12.0	MnCl ₂ ・4H ₂ O	0.0008
NaF	3.0	NaCl	20,747.0

調 製 法

蒸留（精製）水1Lに本品36gを攪拌しながら加え溶解し、メンブランフィルターで除菌ろ過をして使用する。

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので開封後は密閉して保管すること。室温保存。

参 考 文 献

- 1) Chu, C.C., et al: Scientia Sin. 18, 659~668 (1975)
Establishment of an efficient medium for anther culture of rice,
through comparative experiments on the nitrogen sources.

遺伝子工学用

大腸菌用

LB培地「ダイゴ」LB (Luria-Bertani) BROTH
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】396-00871 (100mL用×50)

概 要

本品は大腸菌を宿主細胞とする遺伝子組換え操作の各ステップにおいて頻繁に用いられているLuria-Bertani処方の栄養培地である。

組 成 (1包 [100mL用] 当たり)

ペプトン	1.0g
酵母エキス	0.5g
塩化ナトリウム	1.0g
滅菌後のpH	7.0 ~ 7.4

特 徴

本品は培地調製時の簡素化を主目的にして製剤設計したもので、次のような特徴を有する。

- ・ 研究室スケールに適した100mL用の小包装である
- ・ 水になじみ易い顆粒状である
- ・ pHを予め調整している
- ・ 室内保存に耐え、また取り扱いの簡便なアルミ製スティック包装である

調 製 法

本品1包 (2.5g) を精製水 100mLに加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、適当な容器に分注後121℃で15分間高圧蒸気滅菌して使用する。
なお、抗生物質の適量を加える場合には、滅菌液が冷えた後に添加すること。

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、開封後は速やかに使用すること。

参 考 文 献

- 1) Miller, J.H.: Experiment in Molecular Genetics., Cold Spring Harbor Laboratory., P433, 1972.

遺伝子工学用

大腸菌用

LB寒天培地「ダイゴ」LB (Luria-Bertani) AGAR
》DAIGO《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】393-00881 (100mL用×50)

概 要

本品は大腸菌を宿主細胞とする遺伝子組換え操作の各ステップにおいて頻繁に用いられているLuria-Bertani処方の栄養培地である。

組 成 (1包 [100mL用] 当たり)

ペプトン	1.0g
酵母エキス	0.5g
塩化ナトリウム	1.0g
カンテン	1.5g
滅菌後のpH	7.0 ~ 7.4

特 徴

本品は培地調製時の簡素化を主目的にして製剤設計したもので、次のような特徴を有する。

- ・ 研究室スケールに適した100mL用の小包装である
- ・ 水になじみ易い顆粒状である
- ・ pHを予め調整している
- ・ 室内保存に耐え、また取り扱いの簡便なアルミ製スティック包装である

調 製 法

本品1包 (4.0g) を精製水 100mLに加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、適当な容器に分注後121℃で15分間高圧蒸気滅菌して使用する。
なお、抗生物質の適量を加える場合には、滅菌液が50℃くらいに冷えた後に添加すること。

注 意 事 項

本品は吸湿性が強いので、開封後は速やかに使用すること。。

参 考 文 献

- 1) Miller, J.H.: Experiment in Molecular Genetics., Cold Spring Harbor Laboratory., P433, 1972.

試薬

真菌抑制用

カビサイジン

KABICIDIN

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】397-00161（100mgカ価×5）

概 要

カビサイジンは、武田薬品工業株式会社醗酵生産物研究所で創製（特許第247306号）されたStreptomyces gougerotiiに属する菌培養液から抽出した抗生物質で、黴、酵母等の真菌類のみ選択的に繁殖を抑制するもので細菌類は抑制を受けない。

組 成

淡黄白色の粉末でS、Nを含まずC、H、O元素からなる。紫外線をさけてメタノールから再結晶すると白色ないし淡黄色の柱状晶となり、融点225℃、分子量700±80で、推定される分子式はC₃₅H₆₀O₁₃である。

性 状

本品は、エタノール、プロピルアルコール、ブタノール、アセトン、氷酢酸、ピリジン、エチレングリコール及びメチルセロソルブにわずかに溶け、エーテル、石油エーテル、ベンゼン及び水にはきわめて溶けにくい。

調 製 法

1管全量を乳鉢中で微細状に粉砕し、これにアルコール10mLを加え磨碎する。不溶分をろ過せずに全量を1Lの培地に混入して常法に従い、滅菌して抗黴培地を調製する。

注 意 事 項

本品は2～10℃の冷暗所に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 特許第247306号。
- 2) 百瀬洋夫他：日本醸造協会雑誌59, 90, 1964.
麴に付着している乳酸菌計数のための選択培地。
- 3) 高橋由祐：日本醸造協会雑誌62, 941, 1967.
汚染源の追跡と対策。
- 4) 菅間誠之助：日本醸造協会雑誌64, 496, 1969.
酒母省略仕込について、－アンケートによる調査結果より－

試薬

医薬品・化粧品検査

防腐剤不活化用

レシチン

LECITHIN from SOYBEAN

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】390-00271（10g）

概 要

本品は、大豆からの磷脂質製剤で、Quaternary ammonium compoundsをはじめChlorhexidine, Hexachlorophene, Phenolic compounds, Derivatives of benzoic acid, Organometallic tin compounds 等の各種防腐剤を不活化する。従って、医薬品・化粧品の微生物汚染試験時の防腐剤不活化のためのLP希釈液の主成分として使用されている。また本品は結核菌の培養に使用されるほか、防腐剤を含有する製剤の生菌数測定用培地並びに増菌用培地にも不活化剤として使用する。

組 成

本品は、通常的大豆レシチン製剤を低温下で抽出し、精製して得た95～98%の磷脂質製剤で、レシチン、ケファリン及びリポシトール（イノシトールホスファチッド）のほぼ等量を含有し、また不飽和脂肪酸含量も高く、特にリノール酸に富む特徴がある。

性 状

本品は、水で乳化され、アセトン、アルコールを除く一般脂溶性溶媒に溶け、ミネラルオイルには溶けない。

注 意 事 項

本品は、吸湿性が強いので、固く密栓し、冷暗所に保存すること。

参 考 文 献

- 1) 石関忠一：日本化粧品技術者連合会誌7（1）, 1, 1971.
化粧品の微生物汚染とその検査法について。
- 2) 岩原繁雄：医薬品研究3（4）, 444, 1972.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第1報）。
- 3) 石関忠一他：衛生試験所報告第91号, 1973.
防腐剤に関する研究、とくにポリソルベート80及びレシチンによる不活化作用について。
- 4) 石関忠一：医薬品研究4（2）, 175, 1973.
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法（第3報）。

試薬

グラム陽性菌の選択剤
 フォーゲル・ジョンソン寒天培地 添加用
 ベアード・パーカー寒天培地 添加用

1%亜テルル酸カリウム溶液 「ダイゴ」

POTASSIUM TELLURITE
 SOLUTION 1% 》DAIGO 《

試験成績書はHPにてDL可能

【和光コード・包装】398-00331（2mL×50）

概 要

テルルまたは亜テルル酸塩（tellurateまたはtellurite）は、グラム陽性菌の選択剤として、ブドウ球菌（コアグラゼ陽性菌）、ジフテリア菌の分離培地に用いられる。又コレラ菌や、腸炎ビブリオの分離培地にも応用されている。

本品の場合、1%亜テルル酸カリウム溶液として、黄色ブドウ球菌分離用培地（フォーゲル・ジョンソン寒天培地「ダイゴ」、ベアード・パーカー寒天培地「ダイゴ」）に添加して用いる。

調 製 法

1. フォーゲル・ジョンソン寒天培地「ダイゴ」に添加の場合

フォーゲル・ジョンソン寒天培地「ダイゴ」61gを精製水1Lに加え溶かす。1分間煮沸した後、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。つぎにこの培地を40～50℃に冷却したのち、本品20mL（10管）を加えてよく振り混ぜ、内径8.5～9cmのシャーレに15～20mLずつ分注し平板に固め培地表面を乾燥して使用する。なお、培地調製後はその日のうちに使用する。

2. ベアード・パーカー寒天培地「ダイゴ」に添加の場合

ベアード・パーカー寒天培地「ダイゴ」63gを精製水950mLに加えて溶かす。時々激しく振り混ぜながら加熱し、1分間煮沸溶解した後、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。つぎにこの培地を40～50℃に冷却したのち、無菌的に卵黄乳濁液（卵黄約30%と生理食塩水約70%の混和調製液）50mLと本品10mL（5管）を加えてよく振り混ぜ、内径8.5～9cmのペトリ皿に15～20mLずつ分注し平板に固め培地表面を乾燥して使用する。培地調製後24時間以内に使用する。

参 考 文 献

- 1) E.Zebrovitz et al : J.Bact., 70, 686, 1955.
 Tellurite-Glycine Agar, A selective plating medium for the quantitative detection of coagulase-positive staphylococci.
- 2) 坂崎利一他：新細菌培地学講座・上（第2版）P159,1986. 近代出版.

塩谷エムエス「ダイゴ」培地

製品要覧

2025年7月14日 第2版発行

塩谷エムエス株式会社



塩谷工ム工ス株式会社

製造：塩谷工ム工ス株式会社

〒661-0974 兵庫県尼崎市若王寺3丁目19番1号

TEL：06-6491-2557 FAX：06-6491-2558

お問合せ：info-sms@shiotani-ms.co.jp

URL：https://www.shiotani-ms.co.jp/